

# 2001 年度(第 24 回) 日本学生オリエンテーリング選手権大会 プログラム

-要項 4-



**期間** 2002 年 3 月 8 日 ~ 10 日

**場所** 栃木県矢板市・塩谷郡塩谷町

【主催】 日本学生オリエンテーリング連盟

【主管】 2001 年度(第 24 回)日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会

【後援団体】

矢板市、矢板市教育委員会、矢板市観光協会、  
塩谷町、塩谷町教育委員会、塩谷町観光協会、  
栃木県、栃木県教育委員会、栃木県観光協会、  
たかはら森林組合、栃木県オリエンテーリング協会  
毎日新聞社

【協賛団体】

(株)日本旅行



やまちゃんとはっくん

# 目次

ごあいさつ・歓迎のことば-----1	【7】 クラシック競技 (3/9) -----24
大会日程表-----3	7-1 選手村からクラシック競技会場への移動
大会周辺地図-----4	7-2 欠場受付
【1】 はじめに-----5	7-3 クラシック競技(選手権の部)
<トレイル-0 (3/9)>	7-4 クラシック競技(一般の部)
【2】 インカレ全般情報-----6	7-5 競技会場・更衣所
2-1 立ち入り禁止区域について	<クラシック競技会場レイアウト図> -----28
2-2 インカレ実施規則について	7-6 競技時間
2-3 裁定委員	7-7 ゴール閉鎖
2-4 気象情報	7-8 表彰式
2-5 宿泊について	7-9 代表者ミーティング
2-6 その他注意事項	7-10 選手村への移動
【3】 モデルイベント開催前(2/17-3/6)-----11	【8】 リレー競技 (3/10) -----30
【4】 モデルイベント(3/7-8) -----12	8-1 選手村からリレー競技会場への移動
【5】 開会式(3/8) -----14	8-2 リレー選手変更と欠場最終受付
5-1 開会式会場	8-3 デモンストレーション
5-2 大会受付	8-4 競技会場・更衣所
5-3 公式掲示板	<リレー競技会場レイアウト図> -----31
5-4 クラシック選手権の部 選手スタート順抽選	8-5 地図置き場レイアウト
5-5 開会式	8-6 公式掲示板
5-6 テクニカルミーティング	8-7 ナンバーカード(ゼッケン)
5-7 クラシック選手権の部 シード選手紹介	8-8 リレー競技(選手権の部)
5-8 代表者ミーティング	8-9 リレー競技(一般の部)
5-9 開会式から選手村への移動	8-10 スプリント競技(一般の部)
【6】 競技共通事項-----17	8-11 競技時間
6-1 地図について	8-12 ゴール閉鎖
6-2 テレインの概要	8-13 表彰式
6-3 コース距離および登距離	【9】 閉会式 (3/10) -----38
6-4 テレインおよびコースに関する情報	【10】 チームオフィシャルリスト
6-5 e-card について	【11】 クラシック選手権の部エントリーリスト
6-6 救護所・給水コントロール	【12】 クラシック一般の部スタートリスト
6-7 調査依頼および提訴	【13】 リレー選手権の部チーム番号リスト
6-8 地図販売および返却について	【14】 リレー一般の部チーム番号リスト
6-9 弁当配布について	【15】 クラシック参加者数一覧
6-10 速報について	【16】 リレー参加者数およびチーム数一覧
6-11 未帰還者届について	【17】 歴代優勝者およびチーム数一覧
6-12 リレーオーダー表の提出	付録：
6-13 インフォメーションデスク	日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則
6-14 テープ色一覧	
6-15 提出物一覧	
6-16 競技会場全体レイアウト図-----23	

## ごあいさつ



日本学生オリエンテーリング連盟  
会長 河合 利幸

学連幹事長が決まらず、一時は開催が危ぶまれた2001年度インカレクラシック・リレー競技大会ですが、関係諸氏のご尽力により、栃木県矢板市および塩谷町で無事開催される運びとなりました。主催者の一員として大変喜ばしく思います。しかし、今後も組織上の問題が発生する可能性が高そうだとあっては、手放して喜んでばかりはいられません。学連は、加盟員の皆さんの協力なくしては成り立たないのです。

2001年度は大きな事件や事故の相次いだ年でした。失業率は上がり、不況の出口はいまだに見えません。このような決してよいとはいえない社会情勢の中でインカレが開催できるのは、一方では大変幸運なことと言えるのかもかもしれません。2002年は、ソルトレイクシティ冬季オリンピック、日韓共同開催のワールドカップサッカーと大きなスポーツイベントが続きます。オリエンテーリングは、残念ながら日本では競技としての一般の認知度はまだまだとはいえ、インカレは今や紛れもなく日本オリエンテーリング界最高峰のレースの一つです。今回は、観戦者が楽しめる企画や、一般の参加が可能な併設大会も充実させると聞いています。オリンピックに負けないくらい(?)大いに盛り上げていきたいものです。しかし、このことは、外野の我々が考えればよいことであって、レースに出場する選手の方々には、あまり関係ないことかもしれません。選手の方々が考えるべきことは、それまでの準備で培ってきた持てる力をできるだけ出し切ること、それに尽きるのではないのでしょうか。それこそが大会が成功するための必要条件だと思います。悔いの残らぬようには言いません。後悔と反省、それは次への原動力となるのですから。

最後になりましたが、仕事や育児、勉学の忙しい合間をぬって準備を進めていただいた実行委員会とその関係者の皆さん、本当にご苦労様でした。

そして地元関係者の皆さんには、様々な面でご協力いただき本当に有り難うございました。主催者の日本学連を代表して、厚く御礼申し上げます。

## ごあいさつ



日本学生オリエンテーリング連盟  
幹事長 芳賀 俊哉

「インカレがやってきます」 こう書いている私自身、1年間待ち望んでいたインカレの日がもう間近にきていることを知り、過去のインカレを思い出しながら、にじみ出すような興奮を覚えています。皆さんは、いかがですか？

さて、1年に1度のこの「インカレ」は、年ごとに日本各地を転戦しています。秋吉台、日光、愛知作手という各大会を経て、次なる今年の舞台は栃木県矢板の地となります。過去の個性的ですばらしいテレビインに劣らない手強さを備えた、栃木の山塊が皆さんを待ちうけています。

全3日間ある大会日程のなかで、今回は2種目が行われます。ひとつはクラシック、もうひとつはリレーです。シヨート大会と同じく、それぞれ厳しいレースとなることが容易に想像されます。これまでのレースを思い返し、積み重ねたマップの分厚さを確かめながら、1年の集大成となる最高の自分を発揮できるよう準備して欲しいと思います。仲間の顔を思い浮かべながら、その彼らへ何かを見せつけられるように、心と体の準備を完成させて来て欲しいと思います。そうして1人1人が持ち寄ったものによって、激しく楽しい最高の大会が作り上げられることを願います。

インカレは、その名の通り私達学生の大会です。私達学生こそが、紛れもなくこの大会を作り上げている、それを自覚していただきたいと思います。即ち、私達の力いかんによっては、大会を無上の夢舞台にすることもできれば、その逆に仕立てることもできるということです。私達には参加者として、自分達の手で大会を盛り上げ、感動を与えそして受け取る、権利と義務があります。昨今ではオリエンテーリング人口の減少が囁かれる厳しい現状の中ではありますが、私達はそれに負けないパワーを、オリエンテーリング界、そしてスポーツ界に証明していきましょう。

大会実行委員会の方々には、ご多忙の中、私達学生のために本大会の準備運営をして頂いています。地元・矢板市、塩谷町の皆様には、このような大会を開催する機会と、多大なご協力を頂いております。私達学生がこうして互いの技を競えるのも、こうした方々のご尽力のおかげだということを、決して忘れてはいけません。私達は精一杯の走り、誠意のある行動でもってお応えしましょう。最後になりましたが、関係者の皆様には、日本学生オリエンテーリング連盟加盟員一同を代表し、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 歓迎のこたば



栃木県矢板市  
市長 山口 公久

第 24 回日本学生オリエンテーリング選手権大会が、矢板運動公園をスタート・ゴールにこの雄大な高原山のふもと、素晴らしい自然の中で盛大に開催されますことをお祝い申し上げますとともに、全国各地から参加されました選手・関係者の皆さまを心より歓迎申し上げます。

オリエンテーリングは、ドイツ語の「方向を定め、走る」を意味し、その面白さはマラソンやクロスカントリーなどと違って自分の通る道（ルート）を自分で決めて進むところにあると伺っております。ルートの選択次第では、足の遅い人でも勝てるチャンスがあり、最良のルートをいかに早く走るかというところが、オリエンテーリングの面白さであり、醍醐味でもあります。

どうぞ皆さま、この高原山のふとこで大自然に溶け込みながら、日頃の練習の成果を十分に発揮されますとともに、快い汗を流して爽快感・充実感を味わっていただき、お互いに心のふれあいを深められて友情の輪を広げられますよう心から願いたします。

また、本市には公営の「城の湯温泉センター」がございますので、選手・関係者の皆様におかれましては是非お立ち寄りいただき、大会の疲れを癒し、明日への活力を回復していただければ幸いです。

最後に、本大会にご尽力されました関係者の皆さまに敬意を表しますとともに、大会のご成功を祈念申し上げ、歓迎のあいさつといたします。

## ごあいさつ



2001 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会  
実行委員長 青柳 琢

全国の学生にとって最大のイベントとして認知されている日本学生オリエンテーリング選手権大会（インカレ）が、今年度も矢板市と塩谷町にまたがる高原山麓を舞台に開催される運びとなりました。昨年度のインカレ終了時点では、次期日本学連幹事長の不在により開催そのものが危ぶまれ、また、ここ数年の学連加盟員数の減少や地方開催で起こりつつある運営者の人材不足など、従来通りインカレ開催は難しくなっている状況下で、こうしてインカレを開催できることは、大会運営を任された実行委員会にとっても大変喜ばしいことです。

今大会は新たなインカレ開催地ということに加え、運営体制の大幅な改革に取り組みました。競技面では、選手権の部の充実はもちろんのこと、今まであまり手を加えられることのなかった一般の部にも目を向け、参加するすべての学生のレベルやニーズを考えてクラス分けを行いました。また、応援・観戦の演出面でも、インカレを充分楽しめるように、運営者の側から学生の立場に立って、これは楽しめるのではないかとというものを取り入れ、普段あまり競技をしていない学生でも参加しやすい場の提供を試みました。しかし、全てがうまく行くものではありません。

本大会では、あくまで参加する学生のみなさんが、当実行委員会が考えた「みんなが楽しめるインカレへの試み」に対して、主役である学生の視点でインカレを評価し、また、そのことを通じて「インカレの主役は学生である」ということはどういうことかをもう一度見直しつつ、インカレに自分なりの楽しみを見つけてもらえたらと思います。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力頂きました関係各位の皆様、格別のご理解とご協力を賜りました矢板市、塩谷町の関係各位の皆様に対し、あらためて感謝申し上げますご挨拶とさせていただきます。

# 大会日程表

## 3月7日(木): モデルイベント開催

11:30~16:00	モデルイベント開催	矢板市体育館
-------------	-----------	--------

## 3月8日(金): モデルイベント開催・開会式

08:30~12:00	モデルイベント開催	矢板市体育館
11:00~13:30	大会受付	矢板市文化会館
11:00~12:00	クラシック選手権の部選手変更受付	
11:00~13:00	チームオフィシャル変更受付	
12:30~13:10	クラシック選手権の部スタート時刻抽選	
13:30~14:00	開会式	
14:15~14:45	テクニカルミーティング	
15:00~15:45	クラシック選手権の部シード選手紹介	
16:00~16:30	代表者ミーティング	
15:00~17:00	選手村への移動開始	
18:00~19:30	夕食	
19:00~21:00	インフォメーションデスク開設	鶴亀大吉

## 3月9日(土): クラシック競技

06:00~08:30	朝食	各宿舎
06:30~08:30	一般の部(競技会場行き)バス発車	
07:00~9:50	選手権の部(スタート待機所行き)バス発車	
07:30	会場オープン	矢板市総合運動公園
07:30~08:30	クラシック欠場受付	受付テント
09:00	一般の部競技開始	
09:30	選手権の部(ME)競技開始	
10:30	選手権の部(WE)競技開始	
14:00	一般の部ゴール閉鎖	
14:20	表彰式	
14:00~16:45	選手村行きバス発車	
15:00~16:00	リレーオーダー用紙提出	受付テント
15:30	選手権の部ゴール閉鎖	
16:00	代表者ミーティング	本部テント前
18:00~19:30	夕食	各宿舎
19:00~21:00	インフォメーションデスク開設	鶴亀大吉

## 3月10日(日): リレー競技

06:00~07:30	朝食	各宿舎
06:30~07:30	競技会場行きバス発車	
07:30~	会場オープン	矢板市総合運動公園
07:30~08:10	リレー選手変更、欠場最終受付	受付テント
08:30	デモンストレーション	
09:00	競技開始	
12:30	一般の部ウムスタート	
13:00	選手権の部ウムスタート	
14:00	一般の部ゴール閉鎖	
13:30	地図返却	
14:00	表彰式・閉会式	
15:00	選手権の部ゴール閉鎖	
13:30~16:30	選手村、矢板駅行きバス発車	

# 矢板周辺地図



Copyright(C)1999 ALPS Mapping Co.,Ltd.

約 1:250,000 0 9.5km

## 【1】はじめに

本大会では、日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則第2条に定められた競技を実施し、これを『選手権の部』と呼ぶ。同時に『選手権の部』に参加しない学連加盟員のための競技を併設開催し、これを『一般の部』と呼ぶ。なお、各クラスの表記に下記のような略称を使用する場合もある。

### クラシック競技

選手権の部		一般の部							
ME	WE	MAL	MAS	WAL	WAS	MF	WF	MB	WB

### リレー競技

選手権の部		一般の部					
		リレー			スプリント		
ME	WE	MU	WU	XU	MS	WS	

本大会では全クラス、Emit電子パンチングシステムを使用する。詳細については【6】競技共通事項のe-cardについてを参照のこと。

**クラシック9日(土) 会場にてトレイル-0が行われています。是非ご参加ください!**

## トレイル0に挑戦してみよう!

トレイル0(Trail 0)は、もともとは障害を持つ人たちのために考案されたオリエンテーリングですが、現在では、IOFの掲げる四本柱(フット0、スキー0、トレイル0、マウンテン・バイク0)のひとつと位置付けられ、障害者、健常者、オリエンティアの誰でもがいっしょに楽しめる競技として、海外や国内で急速に関心が高まりつつあります。注意深い地図読みの技術が要求されるのが特徴で、大変に魅力ある競技です。

2005年には、フット0と併せ、トレイル0の世界選手権の開催が愛知県で予定されています。前回の愛知インカレで大変好評でしたので、矢板インカレ大会会場でも、20分~30分程度で回れる体験コースを設けます。このチャンスにぜひトレイル0にトライしてください。

**【参加費】 学生および障害者 = 無料 一般 = 300円**

特別な服装は必要ありません。

問い合わせ先: 高橋 厚 (日本トレイル0研究会)

[atsushi-t@mti.biglobe.ne.jp](mailto:atsushi-t@mti.biglobe.ne.jp)

## 【2】インカレ全般情報

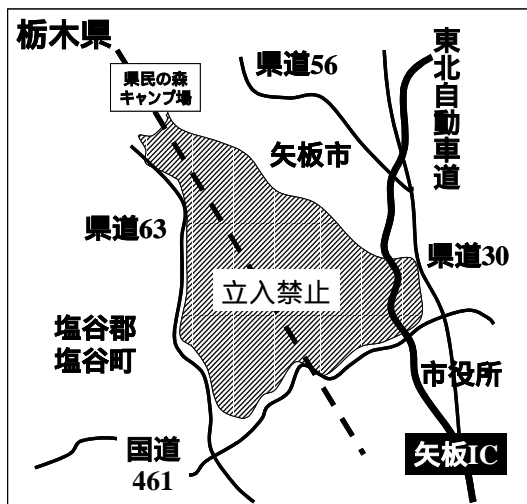
### 【2-1】立ち入り禁止区域について

要項1に記載のとおり、本大会参加者は競技中を除き、以下で示される地域のオリエンテーリングを目的とする立ち入りを禁止する。

- クローズテレインの指定がされているテレイン  
 「下野軌道」  
 筑波大学オリエンテーリング愛好会 作成 1997年  
 「喜佐見」  
 筑波大学オリエンテーリング愛好会 作成 1983年  
 「前高原」  
 栃木県オリエンテーリング協会 作成 1994年  
 「熊ノ木」  
 筑波大学オリエンテーリング愛好会 作成 1989年

栃木県矢板市および塩谷郡塩谷町の右図に示す範囲

ただし、東北自動車道、国道461号、県道30号、  
 県道56号、県道63号は通行して差し支えない。



### 【2-2】インカレ実施規則について

本インカレでは、「日本学生オリエンテーリング選手権大会実施規則」(インカレ実施規則)が適用されている(付録参照のこと)。本規則は2001年11月24日に改正されているため参加者は熟読しておくこと。

### 【2-3】裁定委員

裁定委員は開会式で公表する。

### 【2-4】気象情報

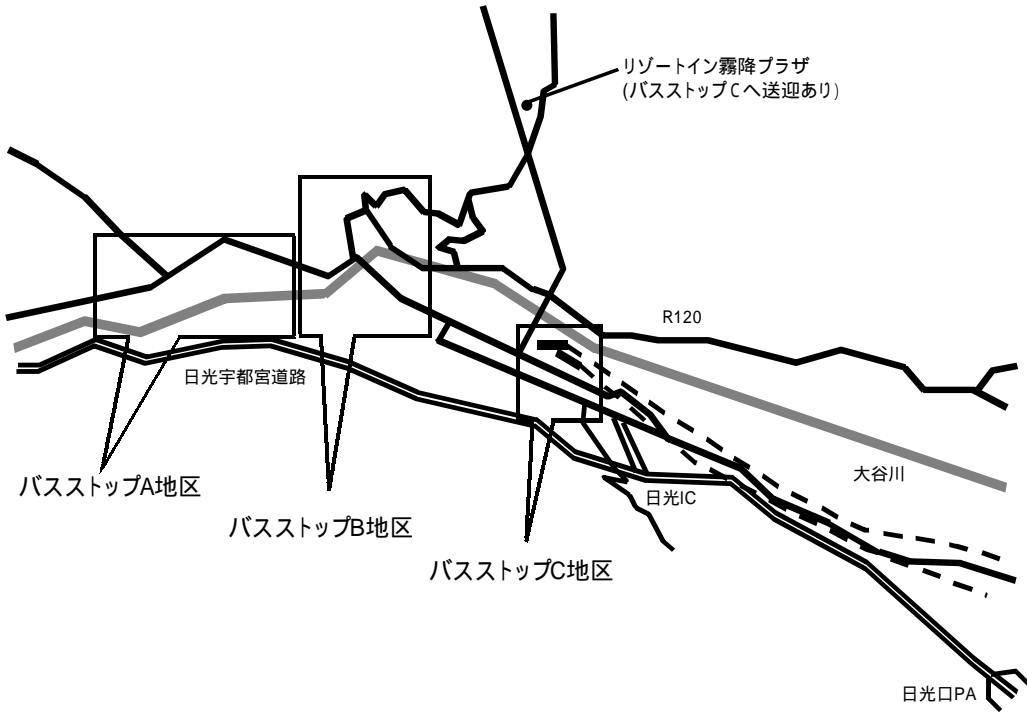
本大会が開催される3月8日(金)~3月10日(日)の気象情報について過去5年分のデータを示す。クラシック・リレーのテレインとも矢板市の観測所とほぼ同程度の標高と考えて差し支えない。

	矢板市末広町			宇都宮市			
	日時	気温(12時)	天候	気温		降水量 mm	天候
				最高気温	最低気温		
1997年 (平成9年)	3月8日			17.3	3.0	0.0	晴れ
	3月9日	10.5	晴れ	14.1	-0.1	0.0	晴れ
	3月10日	10.0	晴れ	13.3	-2.8	0.0	晴れ
1998年 (平成10年)	3月8日			10.4	-2.7	0.0	晴れ
	3月9日	11.0	晴れ	15.6	-1.2	0.0	晴れ
	3月10日	8.0	晴れ	11.9	0.2	0.0	晴れ
1999年 (平成11年)	3月8日			11.8	0.3	0.0	晴れ
	3月9日	1.0	曇り	4.6	0.7	5.0	雨
	3月10日	2.5	曇り	9.0	1.5	0.0	晴れ
2000年 (平成12年)	3月8日			11.6	-0.3	0.0	晴れ
	3月9日	5.0	曇り	9.8	-1.9	0.0	晴れ
	3月10日	5.0	晴れ	9.3	-4.0	0.0	晴れ
2001年 (平成13年)	3月8日			10.1	-0.5	0.0	晴れ
	3月9日	2.5	曇り	6.6	0.1	0.0	曇り
	3月10日	5.0	晴れ	9.5	-1.0	0.0	晴れ

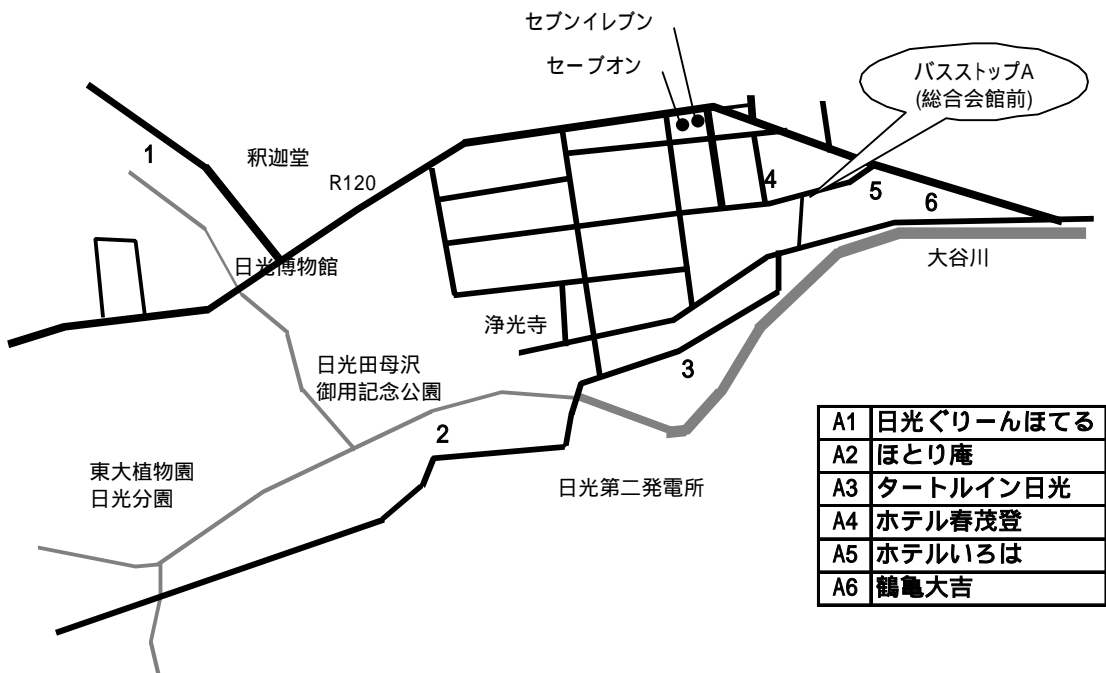


## 【2-5】宿泊について

### 1) 選手村レイアウト



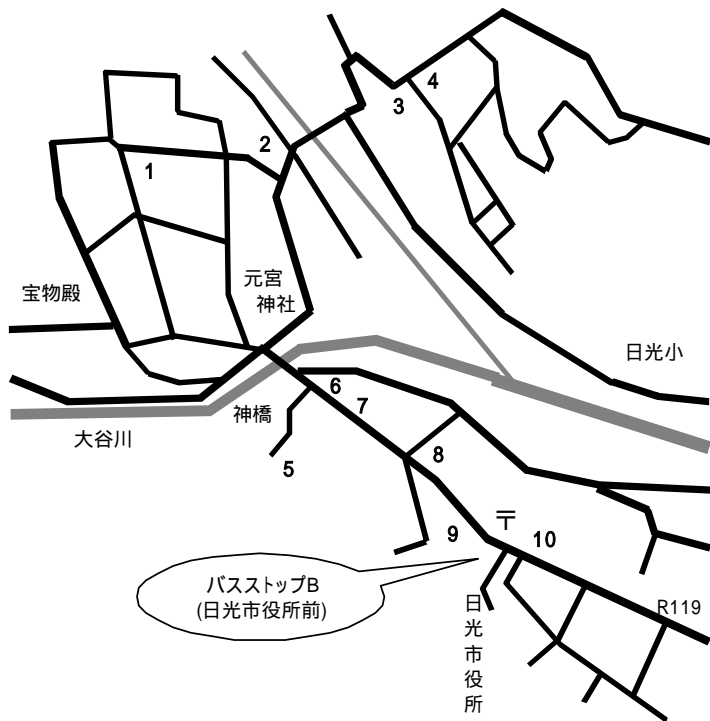
## A 地区



A1	日光ぐりんほてる
A2	ほとり庵
A3	タートルイン日光
A4	ホテル春茂登
A5	ホテルいろは
A6	鶴亀大吉

## B 地区

B1	ホテル清晃苑
B2	日光 東観荘
B3	ホテル高照
B4	梅屋敷旅館
B5	星の宿小西
B6	日光小西屋ホテル
B7	ホテル福田屋
B8	上州屋
B9	会津屋
B10	大野屋



## C 地区

C1	ホテル日光館
C2	ほていや
C3	ホテル山光
C4	霧降プラザ



## 2) 宿舎の割り振り・連絡先

選手は、日光市内の宿舎に分宿する。宿舎の割り振りを以下に示す。

各宿舎の位置は選手村レイアウト図を参照すること。

宿舎の割り振りの変更される場合は該当校にのみ連絡する。

No	旅館名	電話番号(0288)	学校名
A1	日光ぐりーんほてる 懐かし屋 風和里	54-1756	千葉、東京家政、放送、 京都工芸繊維
A2	アネックストル ほとり庵	53-3663	山口
A3	タートルイン日光	53-3168	中央、立教
A4	ホテル春茂登	54-1133	金沢、信州、奈良女子
A5	ホテルいろは	54-1563	立命館
A6	鶴亀大吉	54-1550	茨城
B1	ホテル清晃苑	53-5555	東京農工、神戸
B2	日光 東観荘	54-0611	早稲田、東京都立、日本女子、 学習院、東京農業、立正
B3	ホテル高照	53-1311	図書館情報
B4	梅屋敷旅館	54-1145	名古屋、椛山女学園、静岡、京都橘女子、 東京工業
B5	星の宿小西	54-1105	慶應義塾、相模女子
B6	日光小西屋ホテル	54-1101	京都、京都女子、京都府立医科
B7	ホテル福田屋	54-0389	東京、東京女子、津田塾、実践女子、 国際基督教、東京学芸、東京慈恵会医科、 一橋
B8	上州屋	54-0155	大東文化
B9	会津屋	54-0039	大阪、大阪外語
B10	大野屋	54-1166	埼玉、法政
C1	ホテル日光館	54-0398	新潟
C2	ほていや	54-0107	大阪市立、滋賀医科
C3	ホテル山光	54-0078	岩手、東北、北海道、宮城学院女子、 富山、北海道教育大
C4	リゾートイン 霧降プラザ	54-1001	筑波、電気通信

## 3) チェックイン・チェックアウト

8日のチェックインは、各宿舎において学校ごとに行う。大会受付で各学校に配布する宿泊券を各宿舎の受付に提示すること。なお、各校の代表者は開会式終了後の代表者ミーティングに参加しているので、チェックインの担当者をあらかじめ別に割り当てておくことが望ましい。

宿舎では、各宿舎の取り決めに従うとともに、一般的な常識をわきまえて行動すること。

各部屋に備え付けの冷蔵庫・電話の使用は原則として禁止する。使用した場合はチェックアウトの際各自の責任において精算すること。

競技に向かう時や外出する時はキーをフロントに預けること。

競技で使用した靴で宿舎に入らないこと。

10日のチェックアウトの際は忘れ物に注意すること。

## 4) 荷物・自家用車の保管

選手の荷物や自家用車は、8日午前（開会式開始前）～10日夕方（閉会式終了後）まで各宿舎に預けることができる。各宿舎の指示に従うこと。

貴重品は各自で管理すること。宿舎を離れるときは忘れずに持っていくこと。

## 5) 食事・入浴

8日、9日の夕食および9日、10日の朝食は各宿舎の所定の場所で行う。

夕食は8日、9日とも18:00～19:30の間に取る。なお、食事の時間までに宿舎に到着できない場合は事前に宿舎に連絡しておくこと。

朝食は、9日は6:00～8:30、10日は6:00～7:30の間に取る。

入浴時間は各宿舎の指示に従うこと。

食事のメニューは基本的に統一されたものとする。

## 【2-6】その他の注意事項

### 1) 傷害保険・保険証

本大会では傷害保険に加入している。保険は3月8日の開会式～10日の閉会式終了までの間適用される。怪我などにより治療を受けた場合は、通院以上で、次のような保険金が支払われる。

- 死亡・後遺障害：300万円
- 入院：3500円/日（180日限度）
- 通院：1840円/日（事故の日から180日以内の間で90日限度）

この傷害保険についての問い合わせ・保険の請求などについては、日本旅行千葉教育旅行支店：上符（うわぶ）まで問い合わせること。連絡先は以下の通りである。なお、大会期間中は会場（本部付近）に常駐している。

(株)日本旅行千葉教育旅行支店 上符（うわぶ）  
〒260-0013 千葉市中央区中央2-3-16 安田東相ビル2階  
TEL:043-227-2300 FAX:043-225-2241

遠隔地の参加者はインカレ開催地までの移動が長距離になるため、往復時の事故等に備えるために各自で国内旅行保険（500円から1000円程度で各旅行会社・保険会社で取り扱っている）をかけておくことが望ましい。モデルイベントには傷害保険未適用である。  
万一来場、健康保険証のコピーを持参しておくこと

### 2) キャンセルについて

本大会では、いかなる理由においても参加費は返還しない。

宿泊・輸送費に関しては、欠場届を提出した場合、キャンセル料を差し引いた額を返金する。欠場届は参加費請求書に同封されている。提出先は日本旅行になるので注意すること。キャンセル料は以下の通りである。

時期（それぞれ当日必着のこと）	キャンセル料
～ 2月28日（木）	30%
3月1日（金）～ 3月5日（火）	50%
3月6日（水）～	100%

### 3) 主管者連絡先

- ・ 実行委員長 青柳 琢（2000年 千葉大学卒） E-mail：ZUL11442@nifty.ne.jp  
〒162 0805 東京都新宿区矢来町40 090-4120-1909（携帯）  
緊急を除いて問い合わせはメールですること。

#### 4) その他

大会期間中、選手村と競技会場間の移動は、すべて専用バスを利用すること。

クラシック・リレーともに競技時間中（6:30～15:30）は携帯電話・PHS・無線機を競技情報の伝達のために使用することを禁止する（ただし、主管者が提供するものを除く）。

競技会場（スタート地区等を含む）では、下記のものを参照するなどして利用てはならない。見たことが発覚した場合には、失格などの措置をとることがある。

要項1発表における立ち入り制限区域内の地図およびそれに類するもの（コピー・写真・イラストなど）

ただし以下のものは除く

1. これまでに発行された本大会要項
2. 一般併設大会プログラム
3. トレイル-OのMAP      トレイル-Oのマップは公式掲示板に掲示する

大会期間中は、競技会場（スタート地区等を含む）および移動バス内では禁煙とする。喫煙は、駐車場のみで可能である。灰皿等は各自で用意すること。

大会期間中は、競技会場（スタート地区等を含む）および移動バス内では飲酒やアルコール等を用いた行為を禁止する。

すべての競技者およびチームオフィシャルは、不慮の事故が生じた場合は最寄りの役員に連絡すること。

### 【3】モデルイベント開催前

2/17（日）～3/6（木）

モデルイベント用マップは、栃木県オリエンテーリング協会 1990 年作成「矢板」を縮小リメイクしたものである。

独自のコントロールフラッグを設置し、トレーニングを行うことができる。

上記トレインの使用については、2月17日～インカレ開会式当日までインカレ実行委員会にて管理することとし、地図の販売および申請の受付を行う。使用にあたってインカレ実行委員会の担当者である下記まで連絡し、その際に指示された事項を遵守の上使用すること。

担当者連絡先：梅原 崇一 E-mail: [umehara@nssun.te.chiba-u.ac.jp](mailto:umehara@nssun.te.chiba-u.ac.jp) 090-9956-7463（携帯）

緊急を除いて問い合わせはメールですること。

## 【4】モデルイベント

3/7(木)～3/8(金)

### 【4-1】地図

モデルイベントトレインの地図(コントロール位置印刷済、1:15000、1:10000)は、本プログラムとともに配布する予定である。

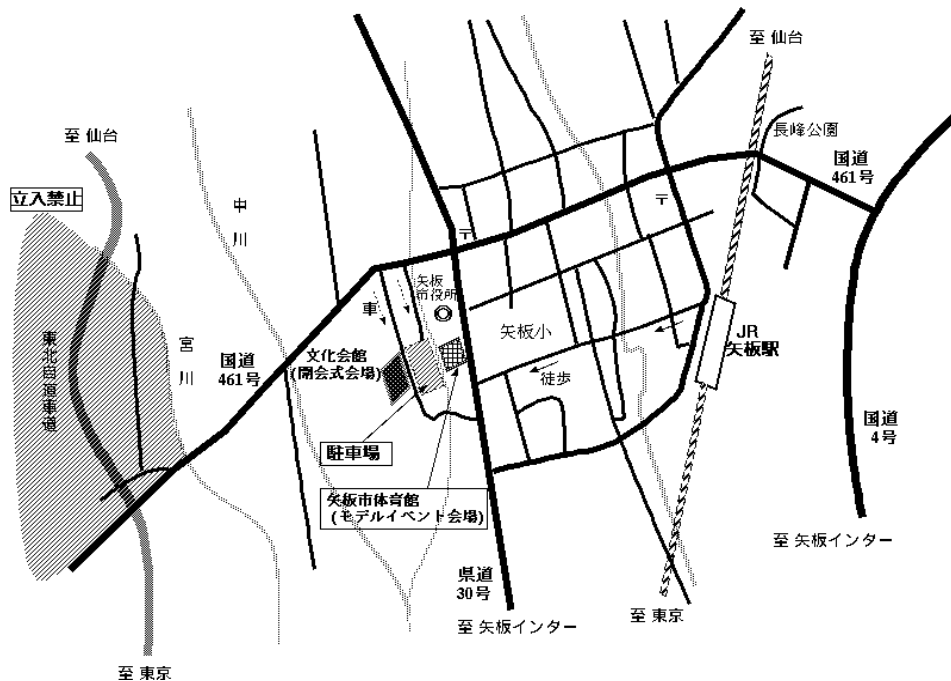
また、モデルイベント会場内の受付においても若干数の地図を販売する(全コントロール地図1枚300円)。

### 【4-2】開設期間

3月7日(木)	11:30～16:00
3月8日(金)	08:30～12:00

### 【4-3】会場(受付・更衣所)

矢板市体育館(矢板市文化会館近く、矢板市役所向かい)を下記に示す。



### 【4-4】交通

#### 1) 公共交通機関利用

- ・JR 宇都宮線「矢板駅」から1km(徒歩約15分)。
- ・テープによる誘導は行わない。各自上記の地図を参照し来場すること。

#### 2) 自家用車利用

- ・東北自動車道「矢板」インターより約10分。
- ・文化会館(開会式会場)の駐車場を利用すること。
- ・立ち入り禁止区域内に入らないように注意すること。

## 【4-5】利用手続き

### 1) 受付

モデルイベント参加者は必ず、入山時および下山時に会場の受付に立ち寄り、ノートに氏名・学校名・出発時刻・帰還時刻を記入すること。

下山時に下山報告をしないと未帰還者として搜索される場合がある。必ず報告を行うこと。

### 2) e-cardの貸し出し

会場の受付にて、希望者に練習用のe-cardを貸し出す。数には限りがあるので、個人所有のe-card(インカレ実行委員から貸し出すカード以外のカード)を持つ者はできる限りそれを使用すること(その際も、入山・下山手続きは必ず行うこと)。

## 【4-6】内容

モデルイベントで使用するテレインは、実際の競技で使用するテレインと類似している。

なお、モデルイベントで設置する器具や、その他設置状況は下記の通りである。

1	コントロール	選手権の部、および一般の部のクラシックとリレーで用いる電子パンチングシステム (EMIT システム)のコントロールユニットの見本を、会場内に設置する。また、モデルイベントテレイン内の全てのコントロールには、フラッグおよびコントロールユニットが設置されており、フラッグの見え方や設置状態、給水方法等を確認できる。
2	スタート地区	クラシック選手権の部スタート地区に準じた設備をおく。
3	最終コントロールからゴールまでのテープ誘導	クラシック選手権の部に準じた誘導テープを設置する。
4	ゴール地区	クラシック一般の部に準じて、パンチングフィニッシュのためのコントロールユニットを設置する。
5	リレー選手権の部地図置場見本	会場に見本を設ける。
6	立ち入り禁止を示すテープ	会場に見本を設ける。

### トライアルコースの提供

本モデルイベントでは、モデルイベントテレイン内のコントロールを用いて、本大会コース設定者による体験コースを提供する。会場内にコースが記載された地図を掲示するので、参加希望者は各自でコースを書き写すこと。ゴール地区でラップの提供を行う予定である。

## 【4-7】注意事項

モデルイベント会場からモデルイベント内のスタートユニット設置位置までは、緑白テープ誘導 2 km、徒歩約 30 分である。

モデルイベント区域内の駐車、路上駐車は一切禁止する。

モデルイベント期間中は、主催者では傷害保険に加入していないので、けがには十分注意すること。

モデルイベント開催期間中、主催者が設置した以外のコントロールフラッグ・テープ等をモデルイベントテレイン内に設置してはならない。

モデルイベント開催中で緊急の場合は、役員携帯電話に電話すること(090-9956-7463 梅原崇一)。

会場およびテレイン内は火気厳禁とする。

ゴミは必ず持ち帰ること。また、会場を汚さないように、各自配慮すること。

## 【5】 開会式

3/8(金)

### 【5-1】開会式会場

開会式は「矢板市文化会館(大ホール)」で行う。栃木県矢板市本町 103-1

交通手段

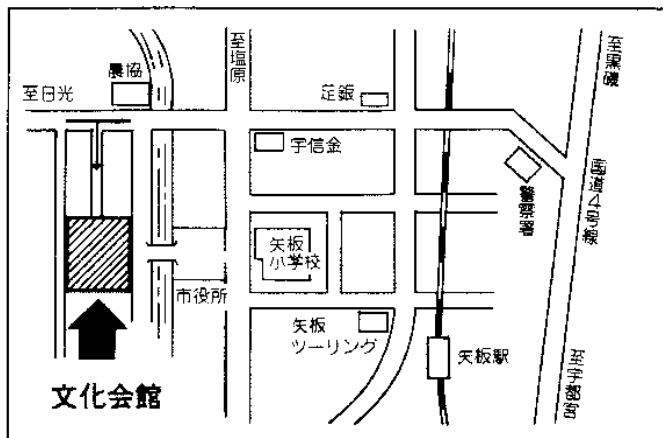
#### 1) 公共交通機関利用

- ・JR 宇都宮線「矢板駅」から 1km(徒歩約 15 分)。
- ・テープによる誘導は行わない。各自下記の地図を参照し来場すること。

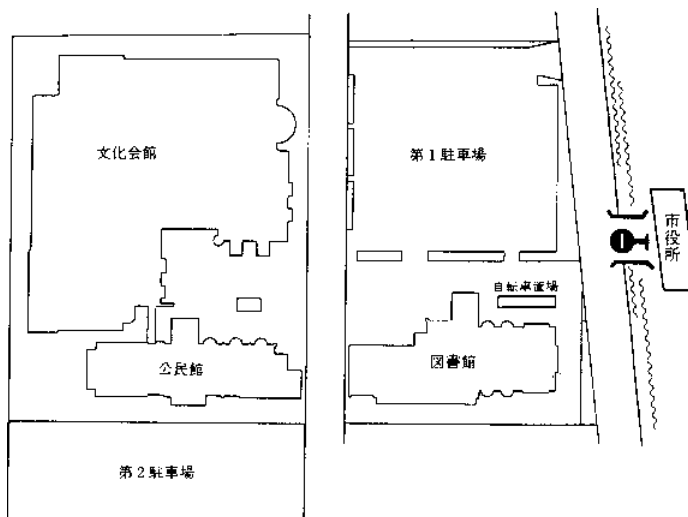
#### 2) 自家用車利用

- ・東北自動車道「矢板」インターより約 10 分。
- ・文化会館の駐車場を利用すること。
- ・立ち入り禁止区域内に入らないように注意すること。

< 開会式会場周辺図 >



< 会場配置図 >





**【5-2】大会受付** 各校の代表者は必ず大会受付を通ること。

1) 配布物 [11:00~13:30]

大会受付では、以下の物を配布する。受け取ったら、中身を確認すること。

配布物	内容
クラシックコントロール位置説明一覧	クラシック競技の全クラスのコントロール説明
リレーオーダー用紙	「オーダー用紙(選手権の部)」、「オーダー用紙(一般の部)」、「スプリントクラス申し込み用紙・欠場届」、「混成チーム編成届」、「リレー直前変更届」
リレーオーダー用名前シール	リレーのオーダー用紙を記入する際に使用するシール。
チームオフィシャル用 ID カード	各校のチームオフィシャルであることを示すもの。チームオフィシャルがいる学校に配布する。チームオフィシャルは、大会期間中必ず携帯すること。
テクニカルミーティング質問用紙	競技に関する質問を記入する用紙。テクニカルミーティング終了後に回収する。詳しくは開会式で指示する。
未帰還者届用紙	ゴール閉鎖時間までにゴールしなかった選手がいる場合に主催者へその旨を報告するための用紙
宿泊券	チェックインするときに、宿舎に提示すること。

2) オフィシャル変更受付 [11:00 ~ 13:00]

3月2日以降にチームオフィシャルを変更することになった学校は、所定の用紙に記入の上、受付に提出すること。

変更前後でチームオフィシャルの性別が異なる場合、宿泊に不都合が生じる場合がある。

変更受付終了後は、チームオフィシャルの変更は認めない。

3) クラシック選手権の部変更受付 [11:00 ~ 12:00]

クラシック選手権の部の出場予定選手が欠場、辞退することによる選手変更を受け付ける。

所定の用紙に記入し、地区学連代表者が申請すること。

4) 欠場受付 [11:00 ~ 13:00]

開会式当日は欠場受付を行わない。クラシック当日朝に受付に欠場届を提出すること。

**【5-3】公式掲示板 [12:00~16:00(予定) / 大会受付横付近]**

プログラムの発行後、変更のあった事項は公式掲示板により発表する。

公表される情報は以下のとおりである。

内容
クラシック選手権の部の出場者変更
遅れエントリー・クラシック選手権の部出場辞退に伴う、一般の部スタートリストの変更(スタートリストの変更を伴わない欠場などについては発表しない)
チームオフィシャルの変更
裁定委員の氏名

公式掲示板に提示された内容は、代表者ミーティングでも知らせる。

**【5-4】クラシック選手権の部 選手スタート順抽選[12:30~13:10]**

開会式に先立ち、クラシック選手権の部のスタート順抽選を行う。

本抽選は公開抽選であるので自由に見ることができる。

男女のトップスタート選手は開会式において選手宣誓を行う。トップスタートの選手が不在の場合は、スタート順の早い方から順に繰り下がって選手宣誓を行う選手を決定する。

選手宣誓を行う選手は開会式前に打ち合わせを行うので、放送による指示に従うこと。

### 【5-5】開会式[13：30～14：00]

開会式では以下の内容を予定している。

- 1．開会宣言
- 2．主催者挨拶
- 3．来賓紹介・挨拶
- 4．優勝旗・優勝杯返還
- 5．選手宣誓
- 6．諸注意

### 【5-6】テクニカルミーティング[14：15～14：45]

競技責任者が、競技に関する事項を中心に、情報提供および諸注意を行う。

テクニカルミーティング終了後、競技に関する質問を受け付ける。ただし、主催者側で不相当と判断した事項については回答しない。

質問は大会受付で配布される質問用紙に記入し、開会式で指示する方法に従って提出すること。

質問に対する回答は、すべて、この後に行われる代表者ミーティングにて行う。

### 【5-7】クラシック選手権の部 シード選手紹介[15：00～15：45]

シード選手はテクニカルミーティング終了後、ステージ前に集合すること。

### 【5-8】代表者ミーティング[16：00～16：30]

代表者ミーティングは、ステージ前にて行う予定である。変更等は、放送などで連絡する。

代表者ミーティングは、以下の内容で行われる。

	内容	備考
	注意事項の確認	
	テクニカルミーティング後に提出された質問に対する回答	
	クラシック選手権の部 ・ e-card の配布	バックアップラベルがはめ込み済みの、記名された e-card を配布する。
	クラシック一般の部 ・ e-card およびバックアップラベルの配布	記名された e-card と、無記名のバックアップラベルを配布する。競技前に各自はめ込んでおく。
	リレーのみの出場者の e-card	個別識別用に名前と大学名が入ったラベルを貼って配布する。
	クラシック選手権の部出場者への配布物	ナンバーカード(ゼッケン)・安全ピン・ビニール袋・荷札・クラシック選手権の部コントロール位置説明
	クラシック選手権の部スタートリストの配布	

ここで配布する e-card はクラシック競技・リレー競技両日通して使うので、一選手につき一枚の配布となる。

このミーティングに参加できるのは、チームオフィシャルを含めて各校2名までとする。

### 【5-9】開会式会場から選手村への移動

開会式終了後に選手村まで専用バスを運行するので希望者は利用できる。(予約制、1800円)、予約先は以下の通りである。

(株)日本旅行千葉教育旅行支店 上符(うわぶ)  
〒260-0013 千葉市中央区中央2-3-16 安田東相ビル2階  
TEL:043-227-2300 FAX:043-225-2241

## 【6】競技共通事項

### 【6-1】地図について

地図は、以下のものを使用する。

クラシック競技	縮尺1:15,000	等高線間隔 5 m	通行可能度 4 段階表示
リレー競技	縮尺1:10,000	等高線間隔 5 m	通行可能度 4 段階表示

O C A Dによるコンピュータ作図である。

地図表記はISOM2000「International Specification for Orienteering Maps (オリエンテーリング地図に関する国際規定)」に従っている。

上記規定の中には地図ごとに定義を定め、これを凡例に示すことで使用が認められている特徴物がある。この規定にしたがって以下のように記号を定める。

緑の ...独立樹

黒の ...炭焼き釜跡

黒の× ...ほこら・石碑・その他人工的な特徴物

その他表記に関してはモデルイベントの地図凡例を参照のこと。モデルイベントの地図は、1:10,000、1:15,000の両方が表記される。

競技に使用する地図は、水分や損傷に耐えられるよう加工されているが、不安のある選手は各自で用意した袋に入れるなどして対処してもよい。

地図への凡例の表記が無い。モデルイベントのマップの凡例を参照のこと。

### 【6-2】トレインの概要

#### <クラシック競技>

地形は小さな山塊からなり、尾根上が平坦になっているところが多い。斜面は、水系が発達していて急斜面なところと、緩やかな斜面とが混在している。植生は全体的に針葉樹林で占められているが、広葉樹林も存在する。また、針葉樹林でも下草により走行可能度が低下するところもある。トレイン内に耕作地や民家が存在し、その周辺には、道路・道が存在する。また、山林内にも舗装された道が存在し、小道・小径もかなり発達している。走行の障害となるような岩石地は見られない。

#### <リレー競技>

地形は小さな山塊からなり、尾根・沢は比較的わかりやすい。斜面は若干急峻なところが多いが、標高差は大きくない。植生は全体的に針葉樹林で占められているが、広葉樹も存在する。針葉樹林でも下草により走行可能度が低下するところもある。トレイン内は耕作地が広く発達しており、山林を分断しているところもある。民家も数多く存在する。その周辺には道路・道が存在している。山林内にも小道・小径が発達している。走行の障害となるような岩石地は見られない。

### 【6-3】トレインおよびコースに関する情報

本トレインは積雪の可能性があるので、各自で対策をすること。また、放し飼いの犬がいるため注意すること。

#### 【6-4】コース距離および登距離

	クラス	コース距離	登距離
クラシック競技	ME	10,600m	485m
	WE	7,800m	280m
	MAL	7,150m	250m
	MAS	4,650m	160m
	WAL	4,810m	180m
	WAS	4,040m	130m
	MF	4,900m	160m
	WF	3,900m	120m
	MB	4,440m	140m
	WB	3,800m	110m
リレー競技	ME	7,700～8,000m	320～345m
	WE	5,300～5,600m	195～205m
	MU	4,300～4,500m	200～225m
	WU	3,200～3,400m	140～155m
	XU	3,200～3,400m	140～155m
スプリント競技	MS	4,300～4,500m	200～225m
	WS	3,200～3,400m	140～155m

#### 【6-5】e-card について

使用システム	用語	用語の意味
EMIT	e-card	従来の「コントロールカード」に代わり、コントロールを通過したことを記録する器具。競技者が手に持って走る。
	スタートユニット	スタートユニットに e-card をはめ込むと e-card が動作し始め（この動作をアクティベートと呼ぶ）、正常に作動している場合には、スタートユニットについているランプが赤く光る。
	コントロールユニット	コントロールを通過したことを e-card に送る機器（ユニット）がついているパンチ台。e-card にはめ込んで使用する。

##### 1) 電子パンチングシステムの概要

本大会では、EMIT 社製の電子パンチングシステム(Electronic Punching and Timing system)を使用する。電子パンチングシステムでは、競技者が手に持って走るタグ(e-card)と、e-card を始動するためのスタート用のユニット(スタートユニット)と、コントロールにおいて記印を行うためのユニット(コントロールユニット)を用いる。

コントロールユニットは固有の番号をもっており、アクティベートした e-card をはめ込むことにより、この固有の番号を e-card が読み取り、e-card に記録される。

これらの記録されたデータをゴール後に読み取り、失格判定を行う。

e-card は、機械であるため、途中で故障する可能性がある。故障しても失格判定が行えるように、e-card にはバックアップラベルが付いている。

バックアップラベルはコントロールユニットにきちんとはめ込んだ場合に、従来のコントロールと同様に穴が開くような構造となっている(ただし、穴は1点、位置によってどのコントロールが判別する)。

## 2) e-card 使用上の注意

e-card の加工、書き込みなどは認めない。このためコントロール位置説明表を携帯する場合は、ビニール袋、コントロールカードケース等を利用して良い。  
アクティベートを行っていない場合、一切の記印が記録されないため、スタートユニットでは各人でランプが点灯することを確認すること。ランプが点灯しない場合には役員に届け出ること。  
e-card が適切に働いていなかった場合はバックアップラベルでコントロールの通過を確認できるのでバックアップラベルも紛失しないように十分注意すること。  
バックアップラベルを紛失しても失格とはしない。  
バックアップラベルにも記印を行うため、e-card をコントロールユニットにきちんとはめ込むこと。  
スタートユニットにはめ込むと、以前の記録は消去されるため、競技開始後は決してスタートユニットに近づけないこと。  
氏名等が記入されているラベルを意図的にはがした場合は失格とする。

## 3) コントロールで間違った記印をした場合の対処方法

同じ番号のコントロールで続けて 2 回以上パンチした場合は最初のパンチのみが記録される。パンチに不安がある場合は、2 回以上パンチしても問題はない。  
途中で間違ったコントロールのパンチが記録されていても正しい順番で回ったことが確認できれば完走と認める。したがって、間違ったコントロールでパンチした場合もそのまま正しいコントロールに行ってパンチすればよい。

【例1】7 8 9 と行くべきところ、8 を飛ばして 9 をパンチした場合

そのまま 8 に戻ってパンチをし、再び 9 をパンチする。

【例2】7 の次に 8 に行くべきところを他クラスのコントロール X でパンチした場合

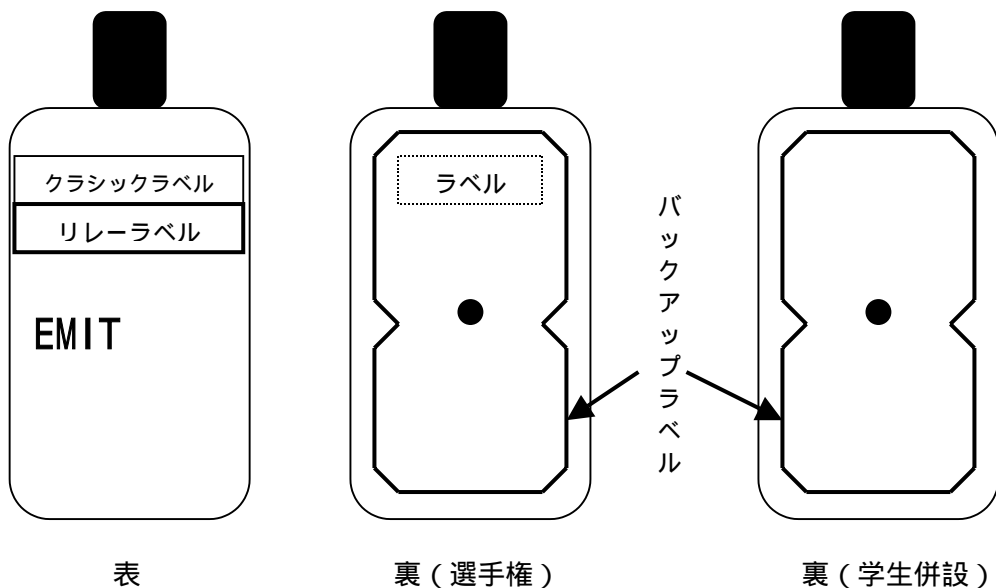
そのまま 8 に行ってパンチする。

## 4) その他注意事項

競技運営の都合上、インカレ実行委員から貸し出すカード以外のカードの使用は認めない。ただし、モデルイベント中では使用できる。

e-card を紛失または破損した場合、弁償金(4000円程度)を徴収する。競技中の事故で破損した場合にはその限りではない。

- ・ e-card ラベル、バックアップラベル貼り付け位置(要実物確認)



< 参考 > e-card 配布の流れ図

日程	クラシック選手権の部参加者	クラシック一般の部参加者
<b>3/8 開会式</b>		
代表者ミーティング	バックアップラベルはめ込み済みの記名された e-card を配布	記名された e-card ・無記名のバックアップラベルを配布、各自でバックアップラベルをはめ込む
	リレーのみの出場者の e-card を配布（個別識別用のラベルを貼ってある）	
<b>3/9 クラシック競技</b>		
クラシック欠場受付	欠場届けのみ提出し、e-card は代表者が保管	
スタート	アクティベート失敗の場合には役員の指示に従い代替 e-card と交換	
競技中	e-card を競技中に紛失した場合にはゴールに向かい役員へ報告	
ゴール	ゴール後に e-card を回収	ゴール後に e-card を提示、確認終了後そのまま持ち帰り保管
代表者ミーティング	全員が帰る大学分の e-card を代表者から回収	

日程	リレー選手権の部参加者	リレー一般の部参加者
<b>3/9 クラシック競技</b>		
代表者ミーティング	クラシック選手権ゴールで回収した e-card の再配布	
	リレー用 e-card ラベル・記名済みバックアップラベルを配布、各自ラベルを指定された場所に貼り、バックアップラベルをはめ込む	リレー用 e-card ラベル・無記名バックアップラベルを配布、各自ラベルを指定された場所に貼り、バックアップラベルをはめ込む
<b>3/10 リレー競技</b>		
選手権オーダー変更	変更前選手・変更後選手の両方の e-card を持参し受付で確認した後、役員の指示に従い相互の e-card ラベル及びバックアップラベルを貼り替える	
リレー欠場受付 不要 e-card 回収	欠場受付と同時に、リレー欠場分の e-card とリレーにエントリーしていない選手の分の e-card を、代表者から回収	
スプリントクラス変更		変更選手の e-card を持参し受付で確認した後、役員の指示に従い e-card ラベルを貼り替える
スタート	アクティベート失敗の場合には役員の指示に従い代替 e-card と交換	
競技中	e-card を競技中に紛失した場合にはゴールに向かい役員へ報告	
ゴール	ゴール後に e-card を回収	

**【6-6】 救護所・給水コントロール**

クラシック・リレーとも競技会場本部付近に救護所を設ける。

クラシック選手権の部では、飲料水を用意した給水コントロールを設ける。給水はセルフサービスである。競技中に怪我人を発見した場合は、ゴールの役員に連絡すること。

すべての競技者およびチームオフィシャルは、競技より優先される不慮の事故が生じた場合は最寄りの役員に連絡すること。

## 【6-7】調査依頼および提訴

### 1) 調査依頼

クラシック競技・リレー競技ともに本部にて調査依頼を受け付ける。  
調査依頼の用紙は、本部にある。調査は文書で行う。  
回答は公式掲示板に提示する。  
成績速報に関する調査依頼は、ゴール閉鎖後1時間以内に行うこと。  
調査依頼には主管者が回答する。調査依頼の回答に疑義がある場合のみ、提訴を受け付ける。

### 2) 提訴

クラシック・リレーとも選手権の部または、大会全体に関するインカレ実施規則に対する違反について、主管者の回答に疑義のある場合は提訴を行うことができる。提訴は裁定委員会に対して文書で行う。提訴に対する裁定委員会の判断は最終的なものである。関係者に通知されるほか、大会報告書にて報告される。

## 【6-8】地図販売および返却について

	内容
3/9	クラシック当日(3/9)の地図返却、販売および配布は行わない。翌日(3/10)に行う。
3/10	[13:00(予定)~/地図返却所] 全クラスのウムスタート終了後、前日使用した地図も含め地図返却および販売を行う。 チームオフィシャル用・賛助会員用地図配布 地図販売開始以降、チームオフィシャルに全コントロール図とMEとWEのコース図および白図を配布する。オフィシャルIDカードを持参すること。 日本学連賛助会員には、希望のコース図をクラシック競技・リレー競技・各1枚無料で配布する予定である。なお、枚数に限りがあるので、希望に添えない場合がある。

## 【6-9】弁当配布について [10:30~(予定)/弁当配布所]

配布の放送がかかり次第、各校の代表者は弁当を取りに来ること。  
弁当ゴミは指定の分別方法に従って捨てること。

## 【6-10】速報について

速報所にて全クラスの速報を掲示する。  
選手権の部では、順位の変動や、中間コントロールの通過状況などをリザルトボードに掲示する。ただし、この情報は公式な記録となるものではない。

## 【6-11】未帰還者届について [受付テント]

クラシック競技 (9日)	<ul style="list-style-type: none"><li>各校の代表者は、14:00の時点で自校の出走者の帰還状況を確認し、14:30までに未帰還者の有無に関らず、未帰還者届を受付テントまで提出すること。</li><li>14:00以前に出走者全員の帰還が確認された場合は、その時点で未帰還者届を提出しても構わない。</li></ul>
リレー競技 (10日)	<ul style="list-style-type: none"><li>各校の代表者は、13:30の時点で自校の出走者の帰還状況を確認し、14:00までに未帰還者の有無に関らず、未帰還者届を受付テントまで提出すること。</li><li>13:30以前に出走者全員の帰還が確認された場合は、その時点で未帰還者届を提出しても構わない。</li></ul>

### 【6-12】リレーオーダー表の提出 [3/9(土) 15:00 ~ 16:00 / 受付テント]

各校の代表者は、翌日のリレー競技のオーダー用紙を提出すること。

前日に大会受付で配布したリレーオーダー用紙のうち、「リレー直前変更届」を除く全ての用紙を使用、未使用に関わらずに提出すること。

リレーの各クラスにおいて、エントリーしたチーム数を超えて自校内でチームを組むことは出来ない。

一般の部において複数の学校で構成されるチームを組む場合は「混成チーム編成届」をいずれかの大学が提出すること。その際、チーム番号の交付を行う。

一般の部の各クラスにおいて、今年度学連初登録者のみで構成されたチームのうち最も成績の良かったチームは特別表彰の対象となるので、今年学連度初登録者のみで構成されたチームは用紙の所定欄に印をつけること。記入を怠ったチームは特別表彰の対象とならない場合がある。

全員分に該当するリレーオーダー用名前シールを、提出するいずれかの用紙に貼ること。なお、シールにはすでに欠場届を受理された選手の分も含まれている。その場合は「スプリントレース申込用紙・欠場届」の該当する欄に貼ること。

リレーでは、人数の揃わないチームは出場できない。チームを組めなくなった場合、そのチームの選手はスプリントクラスに出場するか、観戦となる。

### 【6-13】インフォメーションデスク (19:00~21:00 鶴亀大吉)

8日、9日の19:00~21:00の間、鶴亀大吉にインフォメーションデスクを設置する。

インフォメーションデスクでは、大会に関する問い合わせ、トラブル・不慮の事故などへの対応等の業務を行う。また、9日はクラシック選手権の部のラップ表およびリレー選手権の部のオーダー一覧を配布する。

両日とも21:00以降の緊急の場合は、役員携帯電話に連絡すること(090-3680-8872 庄司拓央)

### 【6-14】テープ色一覧

競技	内容	テープ
クラシック・選手権	スタート待機所 スタート地区	黄
	スタート地区 スタートフラッグ	赤白
	最終コントロール ゴール	
クラシック・一般	会場 スタート地区	緑
	スタート地区 スタートフラッグ	青白
	最終コントロール ゴール	
	ゴール 会場	青
リレー・選手権	スタート 地図置場 スタートフラッグ	赤白
	最終コントロール ゴール	
リレー・一般	スタート 地図置場 スタートフラッグ	青白
	最終コントロール ゴール	
スプリント	スタート スタートフラッグ	青白
	最終コントロール ゴール	
立ち入り禁止		青黄



### 【6-15】提出物一覧

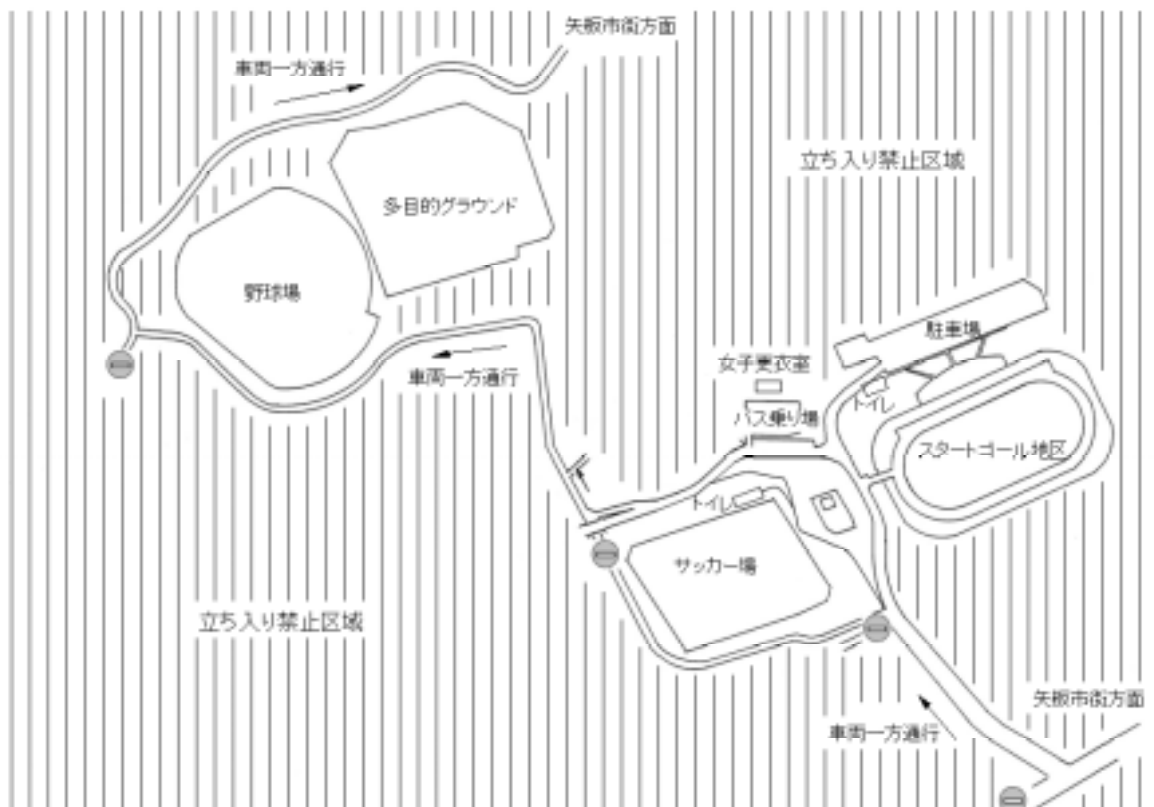
提出物	配布	提出タイミング	提出先
テクニカルミーティング質問用紙	受付(3/8)	3/8 14:45 ~ 15:00	当日指示
クラシック選手権の部変更用紙 学連代表者のみ提出	受付(3/8)	3/8 11:00 ~ 12:00	受付
オフィシャル変更用紙	受付(3/8)	3/8 11:00 ~ 13:00	受付
クラシック欠場届	受付(3/9)	3/9 07:30 ~ 08:30	受付
調査依頼用紙	本部(3/9・3/10)	3/9 09:00 ~ 16:30 3/10 09:00 ~ 16:00	本部
提訴用紙	本部(3/9・3/10)	3/9 09:00 ~ 16:30 3/10 09:00 ~ 16:00	本部
未帰還者届用紙	受付(3/8)	3/9 ~ 14:30 3/10 ~ 14:00	受付
リレーオーダー用紙(選手権の部)	受付(3/8)	3/9 15:00 ~ 16:00	受付
リレーオーダー用紙(一般の部)	受付(3/8)	3/9 15:00 ~ 16:00	受付
スプリントクラス申し込み用紙・欠場届	受付(3/8)	3/9 15:00 ~ 16:00	受付
混成チーム編成届	受付(3/8)	3/9 15:00 ~ 16:00	受付
リレー直前変更届	受付(3/8)	3/10 07:30 ~ 08:10	受付

### 【6-16】競技会場全体レイアウト図

3/9 クラシック競技、3/10 リレー競技は同一会場を使用する。

競技会場レイアウトを下に示す。なお、レイアウト図は当日競技会場にも掲示する。

立入禁止区内でも、トレイルOのマップに書かれるエリアについては立入可能とする。ただし、9日のみとする。



## 【7】クラシック競技

3/9 (土)

### 【7-1】選手村からクラシック競技会場への移動

#### 1) 選手権の部

選手は選手村のバスストップからスタート待機所まで、選手権の部専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図を参照のこと。

選手村バスストップからは一般の部のバスも出発するので、乗車の際間違わないようにすること。

選手権の部専用バスは、スタート時刻に応じて以下のような時刻指定制とする。指定されたバスに乗り遅れた場合、スタート時刻に間に合う保証はない。発車時刻の5分前までにバスストップに集合すること。バスのスタート待機所到着が到着限界時刻に遅れた場合、スタート時刻を遅らせるなどの対応をする場合があるので、役員の指示に従うこと。

No	バスストップ A	バスストップ B	バスストップ C	スタート 待機所	スタート時刻	到着限界時刻
1	7:00	7:10	7:20	8:20	9:30 ~ 9:58	8:40
2	7:30	7:40	7:50	8:50	10:00 ~ 10:28	9:10
3	8:00	8:10	8:20	9:20	10:30 ~ 10:59	9:40
4	8:30	8:40	8:50	9:50	11:00 ~ 11:29	10:10
5	9:00	9:10	9:20	10:20	11:30 ~ 11:59	10:40
6	9:30	9:40	9:50	10:50	12:00 ~ 12:29	11:10

#### 2) 一般の部

選手は選手村のバスストップから競技会場バスストップまで、一般の部専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図を参照のこと。

選手村バスストップからは選手権の部のバスも発車するので、乗車の際間違わないようにすること。

発車時刻の5分前にはバスストップに集まること。

競技会場までの所要時間は60分程度である。

No	バスストップ A,B,C 共通	競技会場	スタート時刻の目安
1	6:30	7:30	9:00 ~ 9:30
2	7:00	8:00	9:30 ~ 10:00
3	7:30	8:30	10:00 ~ 最終

#### 3) チームオフィシャル

チームオフィシャルは、選手権の部または一般の部専用バスに空席があれば乗車できる。上述の時刻表を参照のこと。

選手権の部専用バスに乗車する場合はできるだけ1号車・2号車に乗車すること。それ以降のバスの空席は僅かであるので、乗車できるとは限らない。

選手権の部専用バスに乗車した場合は、スタート待機所から競技会場へはバスで戻ることになる。いったん競技会場へ向かったチームオフィシャルはスタート待機所・スタート地区へ戻ることができない。

スタート待機所 競技会場の部専用バス出発時刻

10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00
-------	-------	-------	-------	-------	-------

### 【7-2】欠場受付[07:30 ~ 08:30 / 受付テント]

選手権の部・一般の部とも、各校の代表者は、当該選手の欠場届を受付に届けること。

リレーのみの欠場は「リレーオーダー用紙提出」(15:00 ~ 16:00)の際に受け付ける。

## 【7-3】クラシック競技(選手権の部)

### 1) 公式掲示板

スタート待機所に、公式掲示板を設置する。

### 2) ナンバーカード(ゼッケン)

選手権の部で使用するナンバーカード(ゼッケン)および安全ピンは開会式後の代表者ミーティングにて配布する。

ナンバーカードは、胸と背中の見えやすい位置に水平に1枚ずつ付けること。

競技中にナンバーカードがはがれないように、ナンバーカード1枚につき6個の安全ピンを使用すること。

### 3) コントロール位置説明表

コントロール位置説明表は代表者ミーティングにて配布される。

コントロール位置説明表を持って競技することができる。

コントロール位置説明表は耐水加工されていないので、コントロールカードケースなどに入れても良い。

コントロール位置説明表は10×12cmを超えない大きさである。

コントロール位置説明表は地図表面にも印刷されている。

### 4) スタート待機所

クラシック選手権の部のスタート待機所・ウォーミングアップエリア・スタート地区へは選手権の部の選手・チームオフィシャル以外の者は立ち入ることはできない。チームオフィシャルは、IDカードを携帯すること。

スタート待機所には屋内の更衣所がある。

トイレはスタート待機所に存在するが、数が少ないためできる限り宿舎ですませること。

スタート待機所付近にウォーミングアップエリアがある。詳細は、スタート待機所にて提示する。

スタート待機所まで持参した荷物は、役員が競技会場まで輸送する。輸送を希望する選手は、代表者ミーティングで配布するビニール袋に入れ、荷札を付けてスタート待機所の指定の場所に置くこと。

スタート待機所で預かった荷物は、スタート待機所から競技会場行きのバスに乗せて輸送される。

荷物および防寒着の返却は競技会場(会場レイアウト図を参照)で行う。

### 5) スタート地区(スタート待機所 スタートまでは、黄テープ誘導、徒歩15分)

スタート待機所からスタート地区に向かう途中、歩測区間がある。

スタート地区では防寒着を回収するが、返却が遅くなる可能性がある。チームオフィシャルがいる学校はチームオフィシャルが運ぶことが望ましい。

### 6) スタート方法

ME	9:30~12:28	2分間隔でスタート
WE	10:31~12:29	

スタート地区では、e-cardとナンバーカード(ゼッケン)を確認する。不備のある者は、正規の時刻にスタートできない場合がある。

遅刻者は遅刻枠に向かい、役員の指示に従うこと。正規にスタートする選手に影響を与える恐れのある場合は、スタートを遅らせることがある。

<p style="text-align: center;"><b>スタートフラッグへ</b></p> <p style="text-align: center;">↑</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>ME</span> <span>WE</span> <span>遅刻</span> </div>	<p>【スタート時刻3分前まで】e-card を所定のユニット(動作確認用スタートユニット)へはめ込み、e-card のアクティベート確認を行う。アクティベートは赤ランプが点滅することによって確認する。赤ランプが点滅しない場合は、e-card の故障の恐れがある為、直ちに e-card の再発行を受けること。</p> <p>【3分前】 枠に入る。</p> <p>【2分前】 1つ前の枠に進む。</p> <p>【1分前】さらに1つ前の枠に進み、役員が e-card およびナンバーカード(ゼッケン)を確認する。</p> <p>【10秒前】e-card をスタートユニットにはめ込み、スタートの合図と同時に離す必要がある。役員の指示に従うこと。</p> <p>【スタート】スタートチャイマーの合図と同時に地図を取りスタートする。</p> <p>【スタート後】赤白テープ誘導に従ってスタートフラッグへ向かう。スタートフラッグは地図上の位置である。</p>
---	---

#### 7) 有人コントロール

コントロールに役員を配置する場合があるが、e-card の提示の必要はない。

#### 8) ゴール

最終コントロールからゴールまでは赤白テープ誘導である。

計時線を通じた時刻を正式なゴールタイムとする。ただし、ラップタイムの収集をするため、計時線後にあるコントロールユニットにもパンチすること。計時線通過後はe-cardを提出するまで追い越し禁止である。

役員の指示に従って e-card と地図を提出すること。提出できない場合は失格とする。

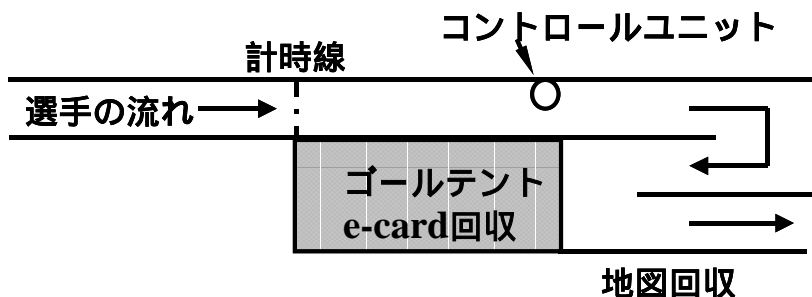
バックアップラベルを紛失した場合でも、e-card の電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば、失格としない。

ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

競技を棄権する場合でも必ずゴールに e-card および地図を提出すること。ゴールに提出することが不可能な場合は最寄りの大会役員に届けること。

ゴールで回収した e-card は、代表者ミーティングにて返却する。

< 選手権の部ゴール地区レイアウト >



## 【7-4】クラシック競技（一般の部）

### 1) 公式掲示板

本部脇に公式掲示板を設置する。

### 2) スタート地区

一般の部は、ナンバーカードを使用しない。

競技会場から一般の部のスタート地区までは、緑テープ誘導、徒歩 35 分である。

参加者は、スタート枠に入る前に必ず動作確認用スタートユニットにて e-card のアクティベート確認する必要がある。

チームオフィシャルもスタート地区に行くことができる。

スタート地区では防寒具を回収するが、返却が遅くなる可能性がある。チームオフィシャルがいる学校はチームオフィシャルが運ぶことが望ましい。

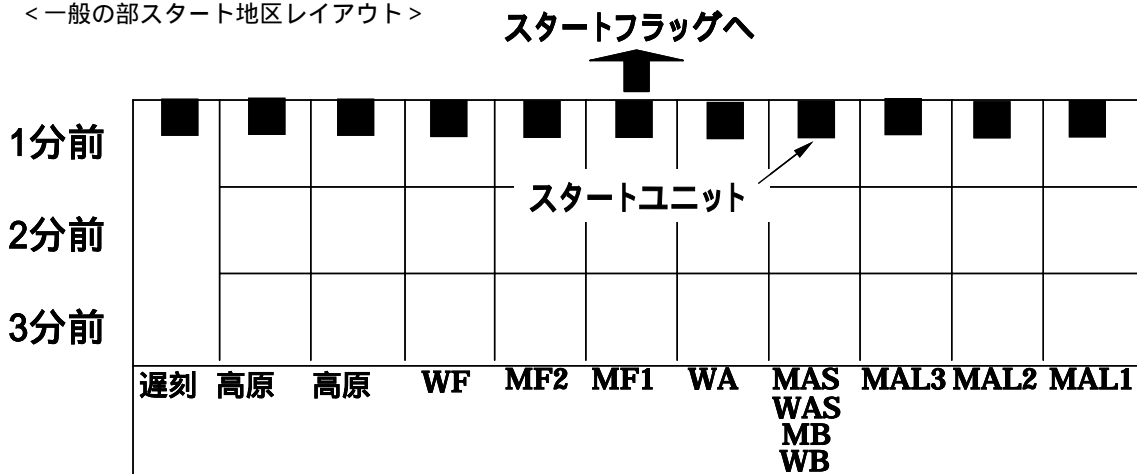
### 3) スタート方法

e-card に不備のある者は、正規の時刻にスタートできない場合がある。

遅刻者は遅刻枠に向かい、役員の指示に従うこと。ただし、30 分以上遅刻した場合は出走できない。また、正規にスタートする競技者に影響を与える恐れのある場合にはスタートを遅らせることがある。

【スタート時刻 3 分前まで】 e-card を所定のユニット(動作確認用スタートユニット)へはめ込み、e-card のアクティベート確認を行う。アクティベートは赤ランプが点滅することによって確認する。赤ランプが点滅しない場合は、e-card の故障の恐れがある為、直ちに e-card の再発行を受けること。
【3 分前】 枠に入る。
【2 分前】 1 つ前の枠に進む。
【1 分前】 さらに 1 つ前の枠に進み、役員が e-card を確認する。
【10 秒前】 e-card をスタートユニットにはめ込み、スタートの合図と同時に離す必要がある。役員の指示に従うこと。
【スタート】 スタートチャイマーの合図と同時に地図を取りスタートする。
【スタート後】 <u>青白テープ誘導</u> に従ってスタートフラッグへ向かう。スタートフラッグは地図上の の位置である。

<一般の部スタート地区レイアウト>



高原 ・ 高原 は、高原山麓オリエンテーリングフェスティバルのレーンである。

#### 4) ゴール

最終コントロールからゴールまでは青白テープ誘導である。

ゴールはパンチングフィニッシュとし、ゴールにあるコントロールユニットによって e-card に記録されるタイムを正式なゴールタイムとする。コントロールユニットは複数あるのでいずれかが1つを使用すればよい。

ゴール後は追い越し禁止である。

役員の指示に従って e-card と地図を提出すること。提出できない場合は失格とする。

バックアップラベルを紛失した場合でも、e-card の電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格としない。

ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

競技を棄権する場合でも、必ずゴールに e-card および地図を提出すること。ゴールに提出することが不可能な場合は、最寄りの大会役員に届けること。

ゴールから会場までは青テープ誘導である。

一般クラスの e-card は、ゴールでデータの読み取りを行い、その場で選手に返却するので、受け取るのを忘れないこと。受け取るのを忘れた場合、翌日のリレーもしくはスプリントを走れなくなるので注意すること。失格の恐れがある場合は返却に時間がかかることがある。

#### 【7-5】競技会場・更衣所

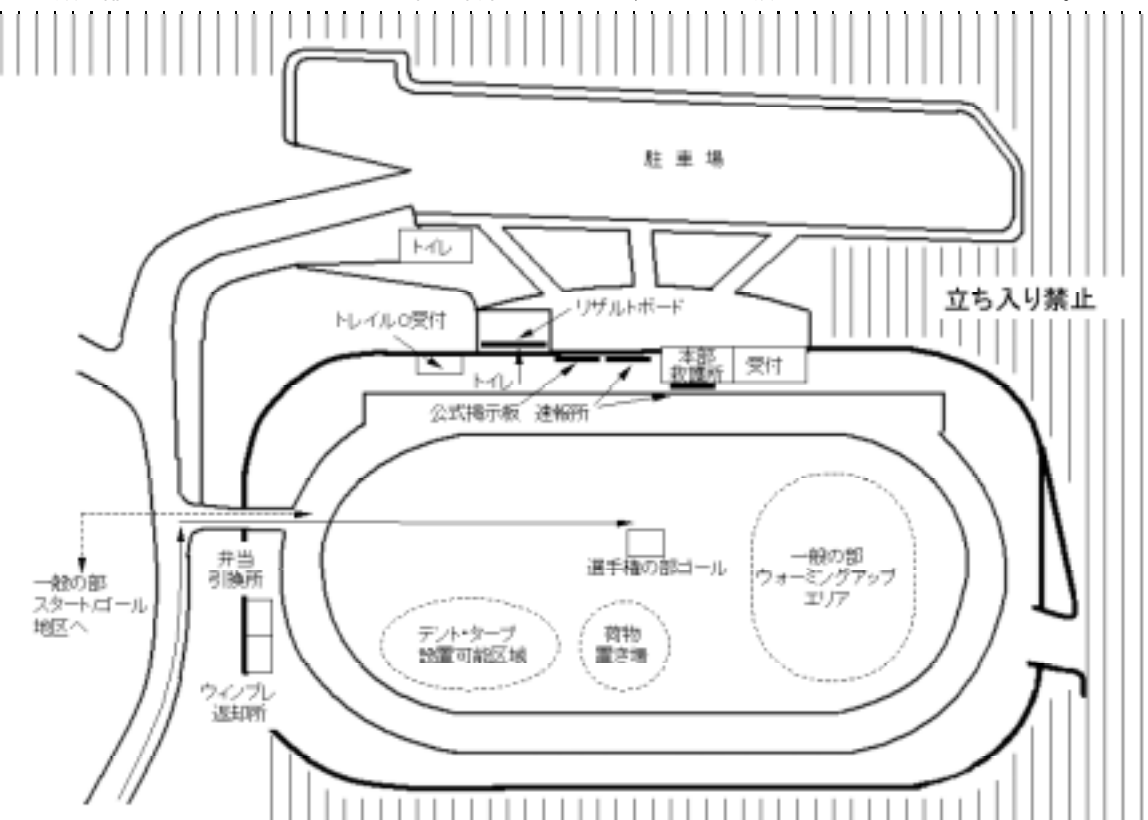
競技会場レイアウトを下に示す。なお、レイアウト図は当日競技会場にも掲示する。

女子更衣所は競技会場内に用意される。ただし、女子更衣所内には荷物を置くことはできない。

男子更衣所は特に設けないが、荷物を置ける場所を競技会場内に設ける。荷物を置ける場所はレイアウト図参照のこと。

クラブテントサイトは設けないが、タープまたはドームテントを張ってもよい区域を設ける。タープ等を張ってもよい区域はレイアウト図を参照のこと。

一般の部ウォーミングアップエリア内は荷物を置いたり、テントを張ったりすることはできない。



### 【7-6】競技時間

選手権の部	一般の部
3時間	2時間

上記の時間を越えた選手はすべて失格とする。

### 【7-7】ゴール閉鎖

選手権の部	一般の部
15:30	14:00

競技途中であっても、ゴール閉鎖時刻までにはゴールを通過すること。

競技を途中棄権する場合でも、必ずゴールに e-card と地図を提出すること。

これが不可能な場合には、最寄りの役員に届けること。

### 【7-8】表彰式[14:20～（予定）]

表彰式は14:20頃より会場にて行う。詳細は放送にて指示する。

選手権の部は上位6名、一般の部は上位3名を入賞者として表彰する。但し、学連登録5年以上の選手は表彰対象外とするが、上位3位以内のタイムの場合は特別表彰を行う。また、選手権の部において、今年度初登録者のうち、最も成績のよかった男女各1名を特別表彰する。

表彰式は併設される高原山麓オリエンテーリングフェスティバルの表彰式から行い、一般の部、選手権の部、の順に行われる。

表彰対象者は放送で招集するので指示された集合場所に速やかに集まること。

表彰選手への花束贈呈、写真撮影等は行ってもよいが、役員の指示に従い表彰式の進行を妨げないように注意すること。場合によっては、制限を行うこともある。

競技会場内において、花束の販売を行う予定である。

### 【7-9】代表者ミーティング [16:00～16:30]

代表者ミーティングは、本部テント前で行う予定である。詳しい場所は、放送などで連絡する。

代表者ミーティングは以下の内容で行われる。

このミーティングに参加できるのは、チームオフィシャルを含めて各校2名までとする。

	内容	備考
	注意事項の確認	
	リレー、スプリント競技出場者への配布物	ナンバーカード・安全ピン
	e-card ラベルと無記名バックアップラベル	各自ラベルを指定された場所に貼り、バックアップラベルをはめ込んでおく。
	クラシック選手権の部において、回収した選手の e-card 再配布	クラシック一般の部において、e-card はゴール後各選手に返却してあるので、ここでの配布はない。
	全員が帰る大学分の e-card 回収	該当する大学の代表者は、全員分の e-card をまとめて持参すること。
	リレー、スプリント競技で使われるコントロール位置説明の一覧表の配布	

### 【7-10】選手村への移動

以下の時刻に選手村への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。

最終便の発車は代表者ミーティング終了の15分後（16:45）を予定している。

14:00	14:30	15:00以降は満車になり次第適宜出発
-------	-------	---------------------

**【8-1】選手村からリレー競技会場への移動**

全員、選手村バスストップから競技会場まで専用バスで移動する。バスストップの場所は選手村レイアウト図を参照のこと。

バスは6:30~7:30に順次発車する。7:00までは一走の選手を優先とする。

競技会場バスストップまでの所要時間は60分程度である。

各宿舎とも、出発前にチェックアウトを行うこと。なお、荷物は夕方まで宿舎に置いておくことができる。置き場所については宿舎の指示に従うこと。荷物を置く場合は、貴重品を宿舎に残さないこと。

**【8-2】リレー選手変更と欠場最終受付 [07:30 ~ 08:10 / 受付テント]****1) 選手権の部**

選手権の部においては、オーダー用紙提出後、出場予定選手が病気、ケガにより出場できなくなった場合、裁定委員の了承が得られた場合に限り、選手変更を受け付ける。「リレー直前変更届」を受付に提出すること。

選手変更を行う場合は、変更前と変更後の両者のe-cardを受付まで持参し、確認の上、ラベルの張り替えを受けること。

選手権の部へ選手を補充したことにより一般の部のチームに欠員が出た場合、スプリントクラスからの補充は認めない。

**2) 一般の部**

一般の部については、欠場のみ受け付ける。選手変更は受け付けない。

前日のオーダー用紙提出の後、何らかの理由で欠場することになった場合は、本部テントに以下のものを提出すること。

リレー直前変更届

不要となったe-card

欠員が生じたチームはリレーへの出走を認めない。残りの走者は、スプリントクラスに出場するか、観戦となる。なお、この場合も「リレー直前変更届」を受付に提出すること。

スプリントの部に変更する場合は、受付までe-cardを持参し、ラベルの張り替えを受けること。

**3) 不要 e-card 回収**

リレーにエントリーしていない選手の e-card をここで回収する。該当する選手のいる大学の代表者はまとめて持参すること。

**【8-3】デモンストレーション[8:30~]**

スタート・ゴール地区で、デモンストレーション(競技説明)を行う。

前走者の来る方向、レーンの位置、チェンジオーバーの方法や、次走者の走る方向などが確認できる。



#### 【8-4】競技会場・更衣所

競技会場レイアウトを下に示す。なお、レイアウト図は、当日、競技会場にも掲示する。女子更衣所は会場内に用意されるが、荷物を置いておくことはできない。

男子更衣所は特に設けないが、荷物を置ける区域を設ける。荷物を置いてよい区域はレイアウト図を参照のこと。

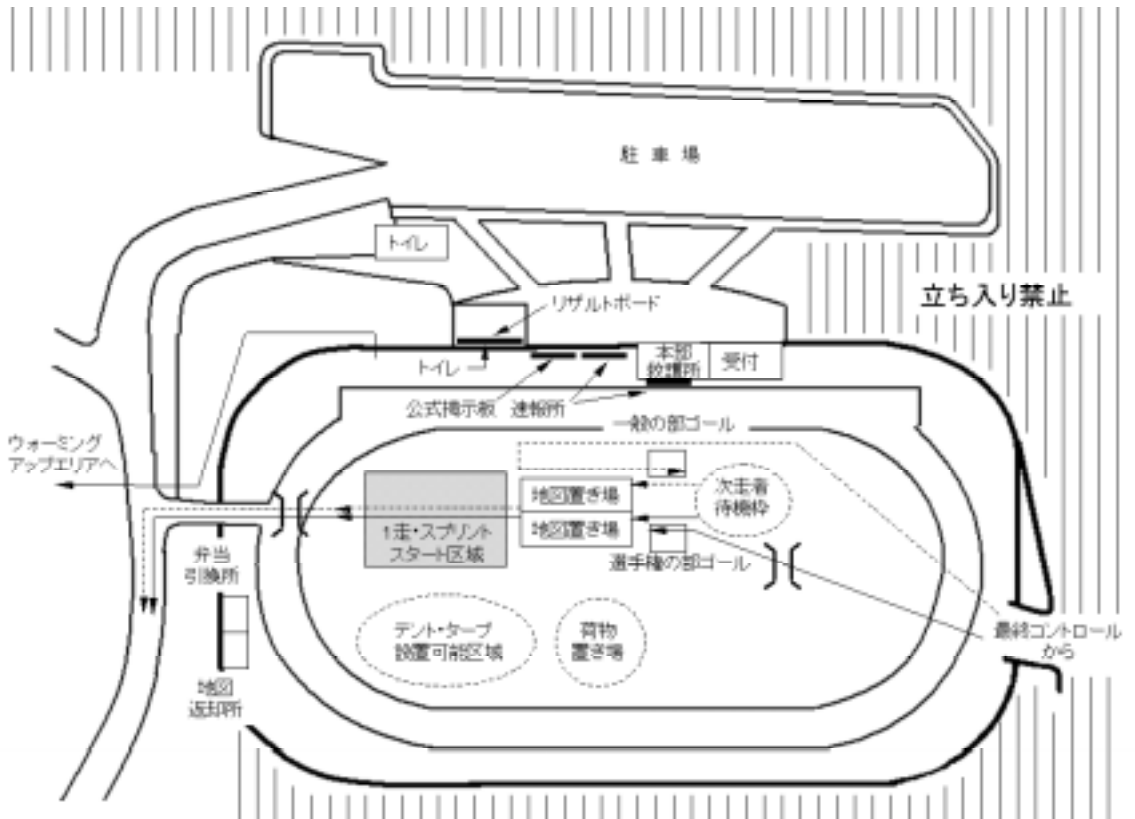
クラブテントサイトは設けないが、テント・タープを張ってもよい区域を設ける。テント・タープを張ってもよい区域はレイアウト図を参照のこと。

#### <ウォーミングアップエリア>

選手権の部と一般の部との別を問わず利用可能な、ウォーミングアップのできる場所を用意する。ウォーミングアップエリアはサッカー場にある。

#### <立ち入り禁止区域>

レイアウト図で示す会場以外は立ち入り禁止である。ただし、ウォーミングアップエリア、トイレ、更衣所へ行く道は立ち入り可能とする。立ち入り禁止区域への立ち入りが判明した場合は失格とする。

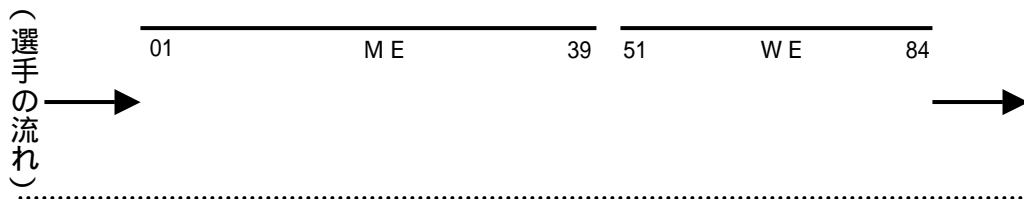


### 【8-5】地図置き場レイアウト

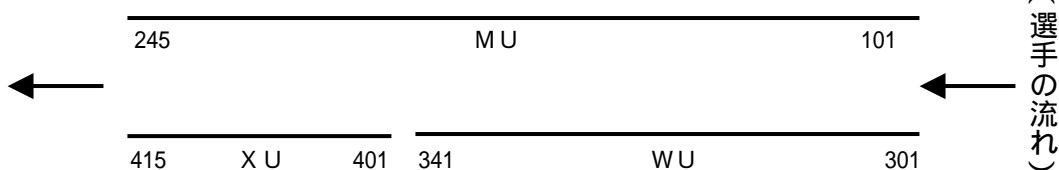
地図置き場レイアウトを以下に示す。

< 地図の並び方 > 「 地図置き場を上から見た図」

(選手権の部)

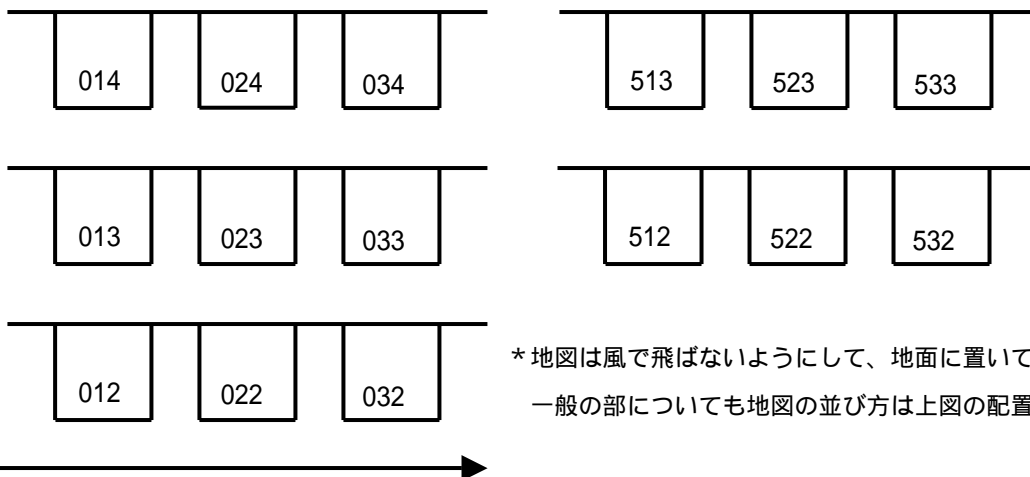


(一般の部)



\*地図はチーム番号がレーンの内側から見えるように書いてある

< 地図の配置 > 「 地図置き場を上から見た図」



\* 地図は風で飛ばないようにして、地面に置いてある。

一般の部についても地図の並び方は上図の配置に準ずる

### 【8-6】公式掲示板

本部脇に公式掲示板を設置する。

### 【8-7】ナンバーカード (ゼッケン)

リレーおよびスプリント競技では選手全員必ずナンバーカードを着用すること。

選手権の部	胸と背中の見えやすい位置に水平に1枚ずつ付けること。
一般の部	胸の見えやすい位置に水平に1枚付けること。

ナンバーカードは、選手権の部、一般の部ともに前日の代表者ミーティングで配布する。

ナンバーカードをつけていない、もしくはナンバーカードが隠れている選手は出走できない。

競技中はナンバーカードがはがれないように、ナンバーカード一枚につき6個の安全ピンを使用すること。

## 【8-8】リレー（選手権の部）

### 1) スタート時刻

ME	9:00
WE	9:10

各クラスとも、一走の選手はスタート 10 分前に一走スタート地区に集合すること。

スタート時刻に遅刻したチームおよびナンバーカード・e-card に不備のある選手・チームは出走できないことがある。

一走スタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。

e-card のアクティベートを行うので、役員の指示に従うこと。

スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。スタート後は、赤白テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点(地図上の ・スタートフラッグ)を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 2) 有人コントロール

コントロールに役員を配置する場合があるが、e-card の提示の必要はない。

### 3) チェンジオーバー

前走者が最終有人コントロールを通過すると、チーム番号が最終掲示板に掲示される。これを確認して、次走者は次走者待機枠に入ること。なお、会場内で行われる放送では、一部のチームしか取り上げない。

掲示されない場合もある。前走者の確認はあくまでも参加者の責任で行うこと

前走者の姿が見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は、ほとんどないので注意すること。

最終有人コントロールからチェンジオーバーエリアまでの所要時間は、ME で 4 分、WE で 5 分程度と予想される。チェンジオーバーエリアのレイアウトはゴール地区レイアウトを参照のこと。

次走者待機枠の入口には、スタートユニットを設置しておく。次走者は必ず e-card のアクティベート確認を行ってから、次走者待機枠に入ること。アクティベートはスタートユニットの赤ランプが点滅することによって確認される。

赤ランプが点滅しない場合は e-card の故障の恐れがある為、直ちに役員に申し出て e-card の再発行を受けること。

チェンジオーバーの前に再度 e-card のアクティベートを行うこと。

チェンジオーバーは、前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合は、そのチームは失格となる。

次走者が次走者枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに前に進み、役員にその旨伝えること。その後、役員に e-card ・地図を渡し、指示に従って次走者不在時待機枠にて次走者を待つこと。なお、次走者不在時待機枠から次走者にチェンジオーバーを行う際には、レーンを走ってくる選手と交錯しないように十分注意すること。

選手権の部の次走者待機枠には、次走者の選手とオフィシャルの 2 名以外は入ることができない。ただし、チームオフィシャルのいない学校については、他の選手権の部の競技者がチームオフィシャルの代わりをしてよい。

チェンジオーバー後、次走者は、赤白テープ誘導に従って選手権の部地図置場に行き、自分の番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は、失格となる(ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない)ので、地図を取る際に必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置場の役員に申し出ること。地図を取った後は、さらに赤白テープ誘導に従い、オリエンテーリングの開始地点(地図上の ・スタートフラッグ)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

#### 4) ゴール

最終コントロールからは赤白テープ誘導に従ってレーンに入り、計時線を通過する。テープ誘導は一般の部と並行する部分があるので間違えないようにすること。

計時線を通過した後は、e-cardを渡すまで他の選手を追い抜いてはならない。

役員の指示に従ってe-cardと地図を渡すこと。提出できない場合は失格とする。

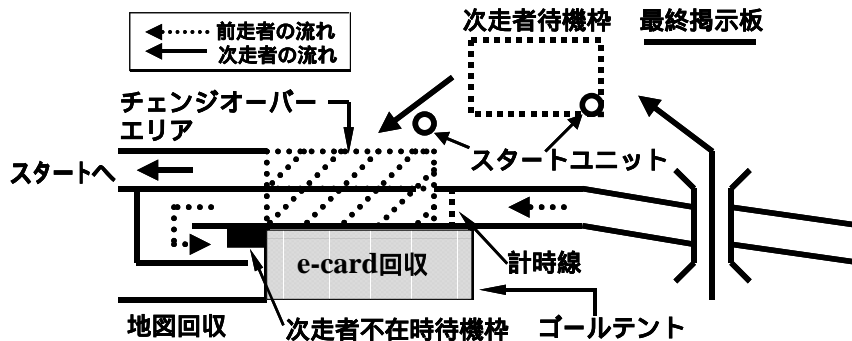
全クラスのウムスタート終了時まで地図は回収する。

バックアップラベルを紛失した場合でも、e-cardの電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格としない。

ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

競技を棄権する場合でも、必ずゴールにe-cardおよび地図を提出すること。ゴールに提出することが不可能な場合は最寄りの大会役員に届けること。

#### <選手権の部ゴール地区レイアウト>



#### 5) ウムスタート

ME、WEとも、ウムスタート時刻は13:00を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がありますので、放送に注意すること。

ウムスタート時刻10分前までにチェンジオーバーできなかった全ての選手は、ウムスタート選手集合時刻に選手権の部次走者待機枠に集合し、役員の指示に従うこと。ウムスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。

ウムスタート選手集合時刻を過ぎても、ウムスタート時刻まではチェンジオーバーは可能である。

ウムスタートの選手は、スタート後、赤白テープ誘導に従って選手権の部地図置場に行き、自分の番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は失格となる(ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない)ので、地図を取る際には必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置場の役員に申し出ること。

ウムスタートになったチームの記録は、参考扱いとなる。

#### 6) 失格

失格は、当該校と裁定委員会によって確認され次第、公式掲示板に掲示する。

失格チームは、その後のチェンジオーバーを禁止する。

失格チームの残り走者は、ウムスタート時に出走できる。

#### 7) ウィニングラン

選手権の部にて、優勝が確定的な学校のみ、ウィニングラン(同チームの選手による最終走者の伴走)を行うことができる。希望する場合には、本部に申し出て許可を得ること。ただし、競技状況によっては許可しない場合もある。

役員の指示に従ってウィニングランを行うこと。許可を受けずに最終コントロールからの誘導区間・ゴール区間に入ってはならない。

ウィニングランをする場合はゴールを駆け抜けること。

## 【8-9】リレー（一般の部）

### 1) スタート時刻

MU	9:20
WU・XU	9:30

各クラスとも、一走の選手はスタートの10分前に一走スタート地区に集合すること。

スタート時刻に遅刻したチームおよびナンバーカード・e-cardに不備のある選手・チームは出走できないことがある。

一走スタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。

e-cardのアクティベートを行うので、役員の指示に従うこと。

スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。スタート後は、青白テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点(地図上の・スタートフラッグ)を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

### 2) チェンジオーバー

前走者の姿が見えてからチェンジオーバーまでの所要時間は、各クラスとも約2分と予想される。

前走者のナンバーカードの掲示・放送は行わないので、次走者は、前走者の帰還を予想して準備をし、前走者が確認できたら速やかに次走者待機枠に入ること。

チェンジオーバーエリアのレイアウトはゴール地区レイアウトを参照のこと。

次走者待機枠の入口には、スタートユニットを設置しておく。次走者は必ずe-cardのアクティベート確認を行ってから、次走者待機枠に入ること。アクティベートはスタートユニットの赤ランプが点滅することによって確認される。

赤ランプが点滅しない場合はe-cardの故障のおそれがある為、直ちに役員に申し出てe-cardの再発行を受けること。

またチェンジオーバーの前に再度e-cardのアクティベートを行うこと。

チェンジオーバーは、前走者と次走者の接触をもって行う。チェンジオーバーが正しく行われなかったと役員が判断した場合は、そのチームは失格となる。

次走者が次走者枠にいない場合は、そのまま立ち止まらずに前に進み、役員にその旨伝えること。その後、役員にe-card・地図を渡し、指示に従って次走者不在時待機枠にて次走者を待つこと。なお、次走者不在時待機枠から次走者にチェンジオーバーを行う際には、レーンを走ってくる選手と交錯しないように十分注意すること。

チェンジオーバー後、次走者は、青白テープ誘導に従って一般の部地図置場に行き、自分の番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は、失格となる(ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない)ので、地図を取る際に必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置場の役員に申し出ること。地図を取った後は、さらに青白テープ誘導に従い、オリエンテーリングの開始地点(地図上の・スタートフラッグ)を通過すること。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

一般の部の次走者待機枠には、次走者の選手以外入ることはできない。ただし、必要な場合はチームオフィシャル(チームオフィシャルのいない学校については、他の競技者)も入ることができる。

### 3) ゴール

最終コントロールからは青白テープ誘導に従ってゴールレーンに入る。テープ誘導は選手権の部と並行する部分があるので間違えないようにすること。

計時線を通過した後は、e-cardを渡すまで他の選手を追い抜いてはならない。

役員の指示に従ってe-cardと地図を提出すること。提出できない場合は失格とする。

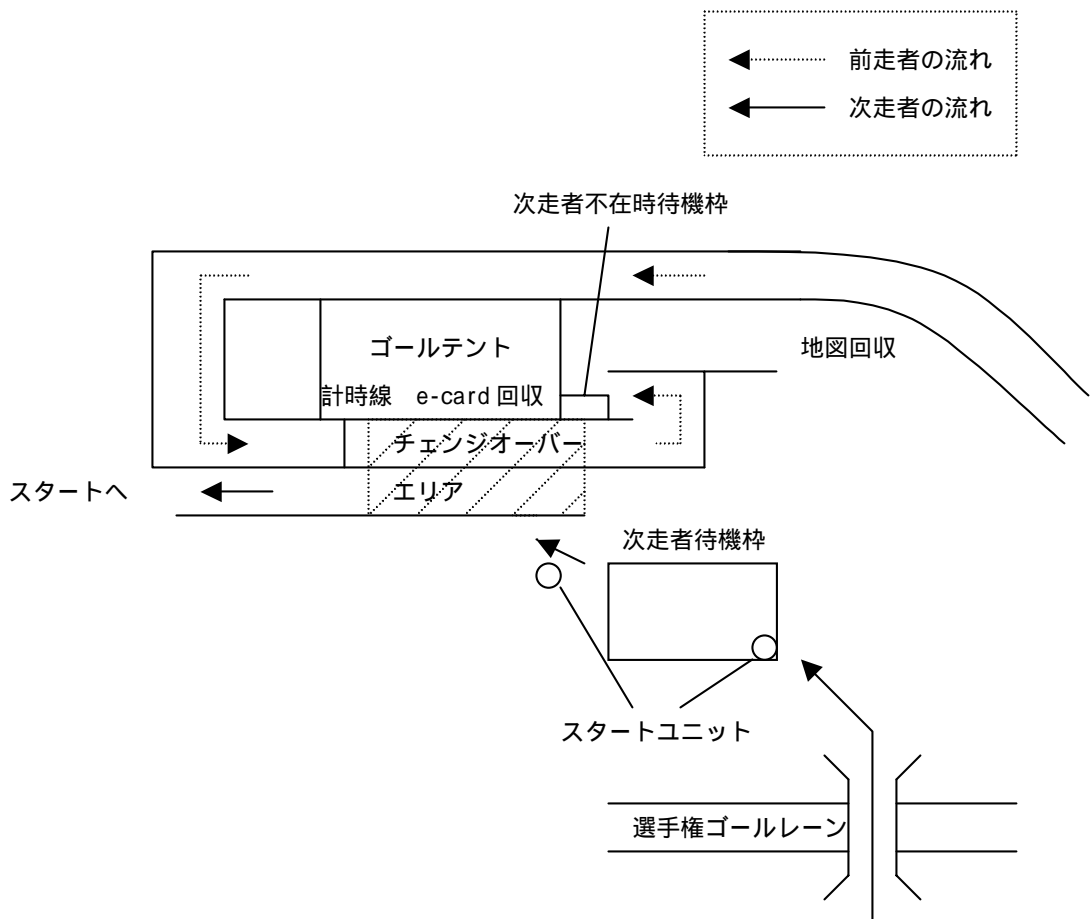
全クラスのウムスタート終了時まで地図は回収する。

バックアップラベルを紛失した場合でも、e-cardの電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格としない。

競技を棄権する場合でも、必ずゴールにe-cardおよび地図を提出すること。ゴールに提出することが不可能な場合は大会役員に届けること。

ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

#### <一般の部・ゴール地区レイアウト>



#### 4) ウムスタート

各クラスとも、ウムスタート時刻は 12:30 を予定している。ただし、当日の進行状況によって変更する場合がありますので、放送に注意すること。

ウムスタート時刻 10 分前までにチェンジオーバーできなかった全ての選手は、ウムスタート選手集合時刻に一般の部次走者待機枠に集合し、役員の指示に従うこと。ウムスタート時刻に遅刻した選手は出走できない。

ウムスタート選手集合時刻を過ぎても、ウムスタート時刻まではチェンジオーバーは可能である。

ウムスタートの選手は、スタート後、青白テープ誘導に従って一般の部地図置場に行き、自分の番号が記載されている地図を取ること。他の選手の地図を取っていった場合は失格となる(ただし中を見ずに元に戻した場合は失格とならない)ので、地図を取る際には必ず確認すること。また、自分の地図がない場合は、地図置場の役員に申し出ること。

ウムスタートになったチームの記録は、参考扱いとなる。

### 【8-10】スプリント競技（一般の部）

#### 1) スタート

MS・WS	9:30
-------	------

(WU・XU と同時刻)

各クラスとも、スタートの 10 分前にスプリントスタート地区に集合すること。

スタート時刻に遅刻した選手およびナンバーカード・e-card に不備のある選手は出走できないことがある。スプリントスタート地区では、役員の指示に従って整列すること。地図は二つ折りにして渡されるが、スタート時刻まで中を見てはならない。

e-card のアクティベートを行うので、役員の指示に従うこと。

スタートはピストルの合図で行う。フライングがあった場合は笛を鳴らす。この場合は役員の指示に従ってスタートをやり直す。

スタート後は、リレー競技と同じ青白テープ誘導に従って進み、オリエンテーリングの開始地点(地図上の ・スタートフラッグ)を通過しなければならない。スタートフラッグを通過しない場合は失格となる。

#### 2) ゴール

最終コントロールからは青白テープ誘導に従ってゴールレーンに入る。テープ誘導は選手権の部と並行する部分があるので間違えないように注意すること。

計時線を通過した後は、他の選手を追い抜いてはならない。

ゴールレーンのレイアウトはリレー一般の部のゴールレイアウト項を参照のこと。

役員の指示に従って、e-card および地図を提出すること。提出できない場合は失格とする。

全クラスのウムスタート終了時まで地図は回収する。

バックアップラベルを紛失した場合でも、e-card の電子的記録でコントロールを順番に回ってきたことが確認できれば失格としない。

ゴールでの調査依頼などは一切受け付けない。本部に申し出ること。

競技を棄権する場合でも、必ずゴールに e-card および地図を提出すること。ゴールに提出することが不可能な場合は、最寄りの大会役員に届けること。

### 【8-11】競技時間

各クラスの競技時間は以下のとおりである。

ME	WE	一般の部	スプリント
6 時間	4 時間 30 分	4 時間 30 分	2 時間

上記の時間を超えたチーム・選手は失格とする。

## 【8-12】ゴール閉鎖

選手権の部	一般の部・スプリント
15:00	14:00

競技途中であっても、ゴール閉鎖時刻までにはゴールを通過すること。

競技を途中棄権する場合でも、必ずゴールに e-card と地図を提出すること。これが不可能な場合には最寄りの役員に届けること。

## 【8-13】表彰式[14:00～（予定）]

表彰式は14:00頃より会場にて行う。詳細は放送にて指示する。

選手権の部は上位6チーム、一般の部 MU は上位6チーム、その他一般の部の上位3チームスプリントクラスは男女上位各1名を入賞チーム・入賞者として表彰する。また、一般の部において、今年度学連初登録者のみで構成されたチームのうち、最も成績のよかったチームを各クラス1チームずつ特別表彰する。表彰式は併設される高原山麓オリエンテーリングフェスティバルの表彰式から行い、一般の部、選手権の部、の順に行われる。

表彰対象者は放送で招集するので指示された集合場所に速やかに集まること。

表彰選手への花束贈呈、写真撮影等は行ってもよいが、役員の指示に従い表彰式の進行を妨げないように注意すること。場合によっては、制限を行うこともある。

競技会場内において、花束の販売を行う予定である。

リレーの表彰式において、選手権優勝校に限り、自校が表彰されている間に校歌等の希望するBGMを流すことができる。希望するBGMを流したい場合、優勝確定後、速やかに本部テントにBGMの録音されているメディアを提出すること。メディアはCDに録音されたものに限る（必ず学校名を記入すること）。

## 【9】閉会式

3/10（日）

### 1) 閉会式 [15:00～15:30]

リレーの表彰式に引き続いて、閉会式を行う。

閉会式では以下の内容を予定している。

1. 総評
2. 2001年度（第24回）実行委員長挨拶
3. インカレ旗引継ぎ
4. 2002年度（第25回）実行委員長挨拶
5. 閉会宣言

### 2) リレー表彰式・閉会式会場からの帰路

13:30～16:30にかけてバスストップから順次選手村（日光駅含む）および矢板駅への専用バスを発車させる。役員の指示に従い乗車すること。